

# 箱根町第6次総合計画 後期基本計画

---

## 令和6年度 施策別評価結果

令和7年 11 月

箱 根 町

# 目 次

## 1 第6次総合計画の概要

- (1) 計画の構成 ..... 1
- (2) 総合計画で目指す将来像 ..... 2
- (3) 基本目標と施策 ..... 2

## 2 総合計画の進行管理・評価

- (1) 進行管理の考え方 ..... 4
- (2) 評価の方法 ..... 4

## 3 施策別の評価結果（まとめ）

- (1) 施策の進捗状況 ..... 6
- (2) 成果指標の達成状況 ..... 7
- (3) 事業の進捗状況 ..... 11

## 4 施策別の評価シート

- (1) 施策別の評価シートの見かた ..... 12
- (2) 施策評価結果一覧・施策別評価シート..... 15

## 1 第6次総合計画の概要

### (1) 計画の構成

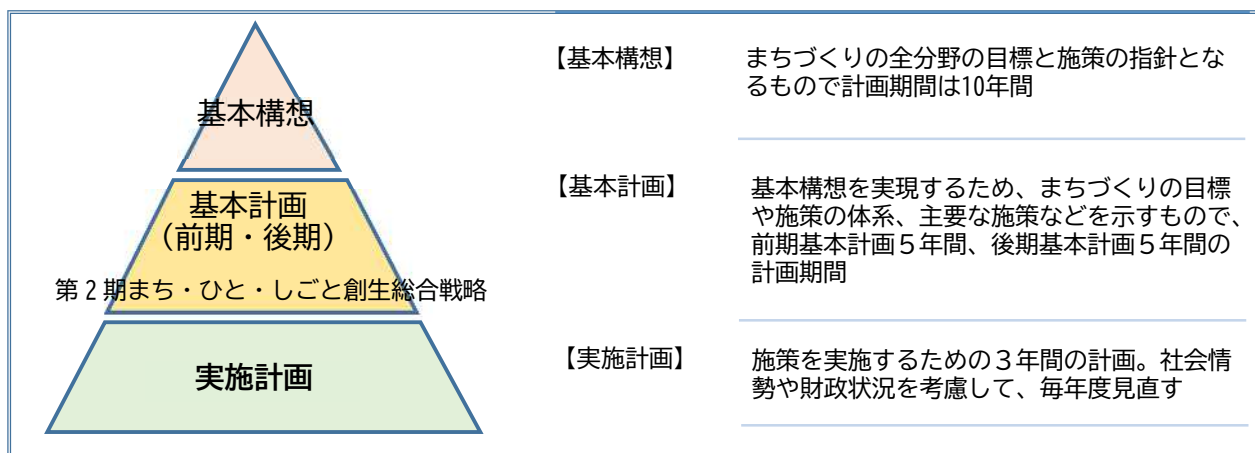
第6次総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画の3層で構成されています。

基本構想は、将来像をはじめ箱根町が進むべき方向性を明らかにしたまちづくりの全分野の目標と施策の指針となるもので、計画期間は、10年間（平成29〔2017〕～令和8〔2026〕年度）です。

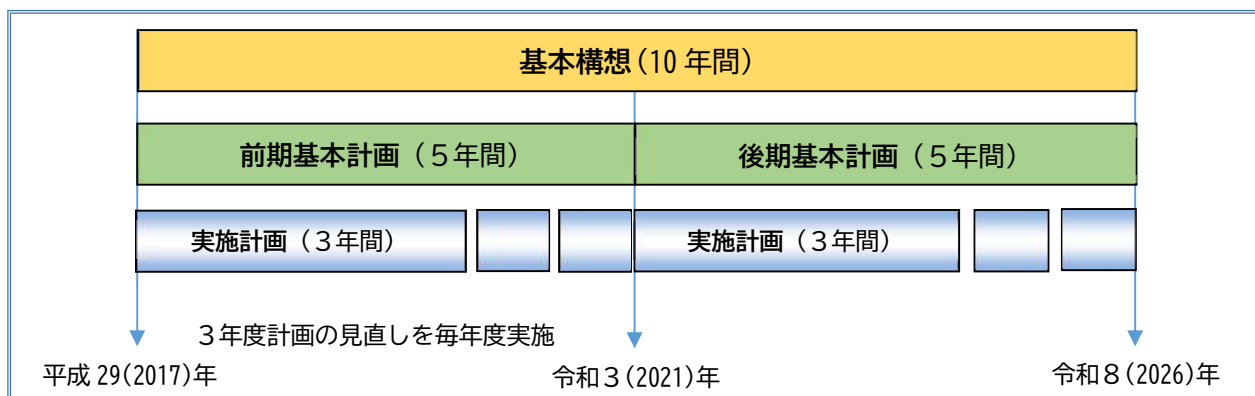
基本計画は、基本構想を実現するため、まちづくりの目標に対する現状と課題、課題解決に向けた施策の体系や方針などを示すもので、時代の変化が速い中で、中間年で施策の見直しなどの的確な対応を図れるよう、前期5年間（平成29〔2017〕～令和3〔2021〕年度）、後期5年間（令和4〔2022〕～令和8〔2026〕年度）をそれぞれ計画期間とします。

また、実施計画は、基本計画で定めた施策を実施するための3年間の具体的計画であり、社会経済状況の変化や町民生活を取り巻く環境の変化に柔軟に対応できるよう、毎年度見直します。

#### 【計画の体系】



#### 【計画期間】



## (2) 総合計画で目指す将来像

### やすらぎとおもてなしのあふれる町－箱根

「やすらぎ」とは、箱根の誇る美しい自然環境の保全を図っていき、住む人、訪れる人すべてが癒しを感じられる町を目指していくとともに、火山対策をはじめ防災対策の強化を図って、安全・安心が確保される町を目指すことを意味します。

「おもてなし」とは、町民同士が相手を思いやる気持ちを持って日々ふれあうことのできる町を目指すことで、地域コミュニティの維持向上につなげるとともに、国内外から訪れるすべての人々に対してもおもてなしの心が伝わる町になることを意味します。

## (3) 基本目標と施策

将来像の実現に向けて、6つの基本目標（保健・医療・福祉、教育・文化、生活環境、自然環境・安全、観光産業、行財政・協働の各分野）を定めるとともに、その目的を達成するために具体的に取り組むべき36の施策を設定しています。

基本目標	施 策
基本目標 1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり	施策1 健康づくりの推進
	施策2 子育て支援の充実
	施策3 地域福祉の充実
	施策4 高齢者福祉の充実
	施策5 障がい者福祉の充実
	施策6 社会保障の充実
	施策7 ワーク・ライフ・バランスの実現
基本目標 2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり	施策8 学校教育の充実
	施策9 生涯学習の推進
	施策10 文化・芸術活動の推進
	施策11 家庭教育の充実
	施策12 青少年の健全育成
	施策13 文化財の保護と活用
	施策14 スポーツ活動の推進
	施策15 男女共同参画・人権尊重の推進
	施策16 多文化交流の実現



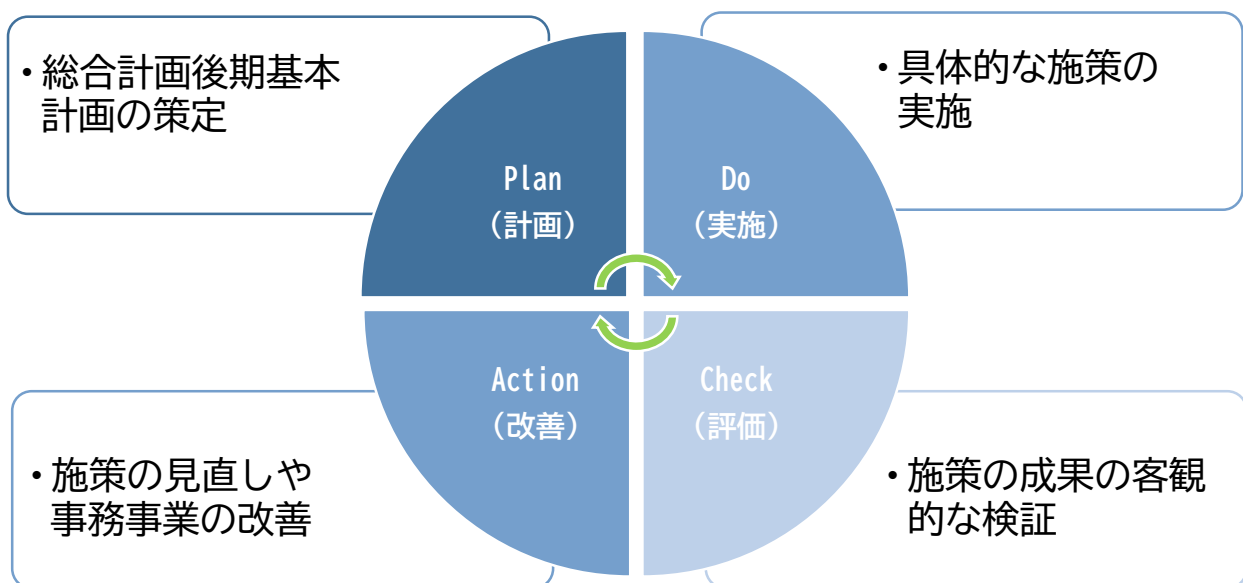
基本目標	施 策
基本目標 3 誰もが住みたくなる、より 良い生活環境のまちづく り	施策 17 道路・交通網の充実
	施策 18 住環境の整備
	施策 19 生活環境の整備
	施策 20 上下水道の整備
	施策 21 地域交通の利便性の確保
基本目標 4 環境にやさしく、安全・安 心なまちづくり	施策 22 循環型社会の形成
	施策 23 自然環境の保全
	施策 24 景観の保全・形成
	施策 25 防災対策の推進
	施策 26 消防・救急対策の充実
	施策 27 交通安全・防犯の充実
基本目標 5 癒しと文化を提供する観 光産業づくり	施策 28 観光資源の開発と活用
	施策 29 観光拠点整備と魅力向上
	施策 30 多様な観光資源と活用した誘客と受入態勢の整備
	施策 31 箱根ジオパークの推進
	施策 32 伝統産業や観光行事の振興
基本目標 6 行政の効率的経営と官民 協働体制の強化	施策 33 協働のまちづくりの推進
	施策 34 計画的な行財政運営
	施策 35 S D G s の推進
	施策 36 コロナ対策の推進

## 2 総合計画の進行管理・評価

### (1) 進行管理の考え方

施策ごとに設定した目標となる指標の毎年度の達成状況の把握とともに、施策の定性的なデータも含めた総合的な検証を行い、その結果を箱根町総合計画審議会に報告し、その意見を聞いて翌年度からの施策の推進に活かします。

また、この総合的な検証結果と審議会からの意見、町の対応方策等はわかりやすく町民等へ公表します。



### (2) 評価の方法

実施計画の進捗状況を把握するために、毎年度、各課等に対し事業の成果と進捗状況を調査します。その後、施策ごとに設定した目標指標の実績と施策の展開の定性的なデータをもとに、部長級職員により施策を評価します。

この結果は、総合計画策定本部会議で評価結果の確認後、総合計画審議会に報告し意見を伺ったうえで公表し、次年度の予算、実施計画のローリングに活用します。

〔令和6年度施策別評価者一覧〕

基本目標		施 策		施策担当課	施策評価者
1	皆が支えあう、 誰もが元気な まちづくり	1	健康づくりの推進	保険健康課	福祉部長
		2	子育て支援の充実	子育て支援課、都市整備課、生涯学習課	福祉部長
		3	地域福祉の充実	町民課、福祉課、保険健康課	福祉部長
		4	高齢者福祉の充実	福祉課、保険健康課	福祉部長
		5	障がい者福祉の充実	福祉課	福祉部長
		6	社会保障の充実	福祉課、保険健康課	福祉部長
		7	ワーク・ライフ・バランスの実現	町民課、総務防災課、子育て支援課、 保険健康課、生涯学習課	福祉部長
2	未来を拓く 人材が育ち、 町民相互に 高めあう まちづくり	8	学校教育の充実	学校教育課	教育次長
		9	生涯学習の推進	生涯学習課	教育次長
		10	文化・芸術活動の推進	生涯学習課	教育次長
		11	家庭教育の充実	生涯学習課	教育次長
		12	青少年の健全育成	生涯学習課	教育次長
		13	文化財の保護と活用	生涯学習課	教育次長
		14	スポーツ活動の推進	生涯学習課	教育次長
		15	男女共同参画・人権尊重の推進	町民課、福祉課	総務部長
3	誰もが 住みたくなる、 より良い 生活環境の まちづくり	16	多文化交流の実現	企画課、観光課、福祉課、学校教育課	企画観光部長
		17	道路・交通網の充実	都市整備課、観光課	環境整備部長
		18	住環境の整備	企画課、観光課、福祉課、都市整備課	企画観光部長
		19	生活環境の整備	環境課	環境整備部長
		20	上下水道の整備	上下水道温泉課	環境整備部長
4	環境にやさしく 安全・安心な まちづくり	21	地域交通の利便性の確保	都市整備課	環境整備部長
		22	循環型社会の形成	環境課	環境整備部長
		23	自然環境の保全	企画課、観光課、財務課、環境課	企画観光部長
		24	景観の保全・形成	都市整備課	環境整備部長
		25	防災対策の推進	総務防災課、都市整備課	総務部長
		26	消防・救急対策の充実	消防本部	消防長
		27	交通安全・防犯の充実	町民課	総務部長
5	癒しと文化を 提供する 観光産業 づくり	28	観光資源の開発と活用	観光課、企画課、総務防災課、 上下水道温泉課	企画観光部長
		29	観光拠点整備と魅力向上	観光課	企画観光部長
		30	多様な観光資源を活用した誘客と受 入態勢の整備	観光課、学校教育課、保険健康課	企画観光部長
		31	箱根ジオパークの推進	企画課、観光課	企画観光部長
		32	伝統産業や観光行事の振興	観光課	企画観光部長
6	行政の効率的 経営と官民協働 体制の強化	33	協働のまちづくりの推進	企画課、観光課、町民課、都市整備課	総務部長
		34	計画的な行財政運営	企画課、町民課、財務課、税務課、 子育て支援課	総務部長
		35	S D G s の推進	企画課、観光課、環境課	企画観光部長
		36	コロナ対策の推進	企画課、観光課、総務防災課、 保険健康課、子育て支援課、 学校教育課、消防本部	福祉部長

### 3 施策別の評価結果（まとめ）

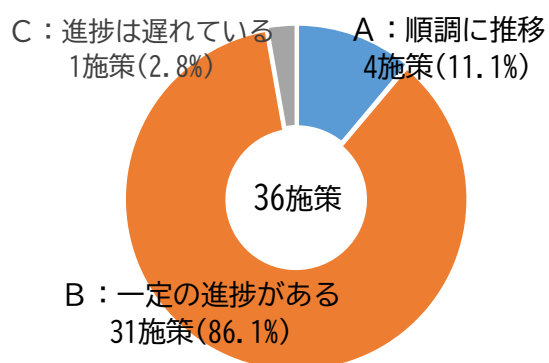
#### （１）施策の進捗状況

36 施策の令和 6 年度における進捗状況を評価した結果、「A：順調に推移した施策」は 4 件（11%）、「B：一定の進捗があった施策」が 31 件（86%）となりました。

（図表 1）基本目標別の施策の進捗状況

施策の進捗区分	基本目標						区分 合計	割合
	1	2	3	4	5	6		
A 順調に推移 (目標達成又は進捗している)	0 (±0)	0 (±0)	3 (±0)	0 (±0)	0 (-1)	1 (±0)	4 (-1)	11.1%
B 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある)	7 (±0)	8 (±0)	2 (±0)	6 (±0)	5 (+1)	3 (±0)	31 (+1)	86.1%
C 進捗が遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)	0 (±0)	1 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	1 (±0)	2.8%
D 進捗が大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0.0%
合 計	7	9	5	6	5	4	36	100.0%

（図表 2）施策の進捗区分別の内訳



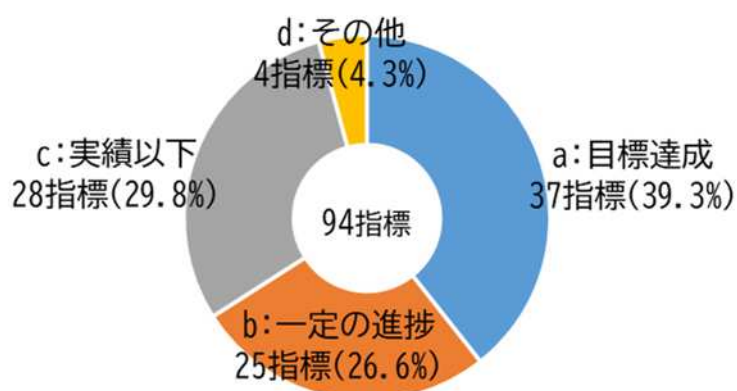
## (2) 成果指標の達成状況

・36の施策に位置付けた成果指標は、94項目あり、そのうち令和6年度で「a 目標値に達している指標」は、37項目（39%）、「b 目標値に達していないものの計画策定時の実績値から一定の進捗が図れた指標」は、25項目（27%）、「c 計画策定時の実績値を下回った指標」は、28項目（30%）となりました。

（図表3）基本目標別の施策の成果指標の達成状況

成果指標の達成状況	基本目標						区分 合計	割合
	1	2	3	4	5	6		
a 目標達成 （目標値に達している指標）	11 (+2)	9 (+4)	3 (±0)	6 (±0)	6 (+2)	2 (+1)	37 (+9)	39.3%
b 一定の進捗 （目標値に達していないものの計画 策定時の実績値から一定程度進捗が 図れている指標）	4 (-2)	4 (-1)	7 (±0)	3 (±0)	4 (+1)	3 (±0)	25 (-2)	26.6%
c 実績以下 （計画策定時の実績値を下回った指 標）	7 (±0)	11 (-3)	2 (±0)	6 (±0)	2 (-3)	0 (-1)	28 (-7)	29.8%
d その他 （達成状況の判断のつかないもの）	0	0	0	0	0	4 (±0)	4 (±0)	4.3%
合 計	22	24	12	15	12	9	94	100.0%

（図表4）成果指標の達成区分別の内訳



# ●成果指標の進捗状況一覧

施策 番号	目標とする指標	目標値					単位	R6指標の 達成状況
		R1 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (実績)	R8 (目標)		
1	特定健康診査の受診率 (受診者数÷対象者数)	31.3	34.0	34.1	34.6	34.0	%	a:目標達成
1	がん検診の受診率	25.0	24.9	26.1	25.9	33.0	%	b:一定進捗
1	温水プールの年間利用者数	13,032	14,817	16,024	16,284	27,000	人	b:一定進捗
2	認定こども園・保育所待機児童数	0	0	0	0	0	人	a:目標達成
2	放課後児童クラブ待機児童数	0	0	0	0	0	人	a:目標達成
2	乳幼児健康診査受診率	94.4	101.6	100.6	100.8	100	%	a:目標達成
2	子育て支援講座参加者数	6	27	16	32	30	人	a:目標達成
2	放課後子ども教室参加児童数	28	27	55	50	30	人	a:目標達成
3	ボランティア団体数	10	10	9	9	12	団体	c:実績以下
3	住民交流会（サロン）設置 地域数及び団体数	5	5	5	5	5	地域	b:一定進捗
		11	11	11	11	12	団体	
4	ひとり暮らし老人等緊急通報 システム事業の設置世帯数	35	31	30	30	50	世帯	c:実績以下
4	長寿健康診査の受診率 (受診者数÷対象者数)	36.6	36.0	34.8	35.6	40.0	%	c:実績以下
4	配食サービス事業の年間の延べ配食数	5,996	4,875	3,827	4,331	6,300	食	c:実績以下
4	老人クラブの会員数	593	395	369	349	565	人	c:実績以下
5	在宅障がい児の機能訓練会等への参加者数 (年間延べ人数)	218	205	152	129	230	人	c:実績以下
5	訪問系サービス利用者数（人／月）	10	8	10	10	13	人	b:一定進捗
5	施設入所者数	17	13	12	10	15	人	c:実績以下
6	国民健康保険料の収納率	80.9	86.9	86.4	88.0	83.0	%	a:目標達成
6	高齢者の健康相談件数	166	55	30	390	309	件	a:目標達成
7	認定こども園・保育所待機児童数（再掲）	0	0	0	0	0	人	a:目標達成
7	子育て支援講座参加者数 （再掲）	6	27	16	32	30	人	a:目標達成
7	男女共同参画講演会満足度（アンケート）	-	100	100	100	80.0	%	a:目標達成
8	町内小・中学校児童・生徒の地域行事への参加率	75.8	65.5	70.9	75.8	80.0	%	b:一定進捗
8	町内小・中学校児童・生徒の読書量が1日30 分以上の割合	62.6	35.3	29.7	33.4	70.0	%	c:実績以下
8	それぞれの子どもが持っている自尊心の度 合い	65.0	68.4	74.6	76.9	70.0	%	a:目標達成
9	全公民館の年間利用者数	25,120	24,649	24,170	24,551	15,000	人	a:目標達成
9	町民一人当たりの図書貸出冊数	1.89	1.94	1.90	1.69	2	冊	c:実績以下
9	自治学習出張講座の利用件数	3	3	2	4	5	件	b:一定進捗
9	生涯学習フェスティバル登録行事数（文化系 行事）	3	2	2	5	5	回	a:目標達成
10	町民文化祭の参加人数	527	475	540	687	550	人	a:目標達成
11	家庭教育講座参加者数	77	57	74	89	80	人	a:目標達成
11	幼保小中学校での家庭教育に関する取組数	34	0	4	4	12	件	c:実績以下
11	広報等での家庭教育啓発記事数	6	6	6	6	6	件	a:目標達成

施策 番号	目標とする指標	目標値					単位	R6指標の 達成状況
		R1 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (実績)	R8 (目標)		
12	青少年関係事業への児童・生徒の参加率	20.0	23.3	16.0	18	20.0	%	c:実績以下
13	箱根関所入館者数	280,017	198,174	226,172	223,691	400,000	人	c:実績以下
13	郷土資料館利用者数	6,992	4,276	5,136	4,919	10,000	人	c:実績以下
13	文化財ボランティア数 (延人数)	54	8	8	59	100	人	b:一定進捗
13	郷土資料館所蔵資料の利用点数	48	139	85	37	100	点	c:実績以下
13	箱根関所学校利用プログラム利用件数	96	67	87	82	150	件	c:実績以下
14	箱根路森林浴ウォーク町民参加者数	63	24	28	28	150	人	c:実績以下
14	箱根町総合体育館の稼働率	40.5	34.0	38.6	35.6	50.0	%	c:実績以下
14	スポーツ教室・大会等開催回数	3	1	3	2	5	回	c:実績以下
15	男女共同参画講演会満足度（アンケート） (再掲)	-	100	100	100	80.0	%	a:目標達成
15	審議会等における女性委員の割合	20.5	20.5	23.9	22.8	30.0	%	b:一定進捗
16	ホストタウン相手国との交流回数	1	1	0	1	1	回	a:目標達成
16	姉妹都市・友好都市との訪問団派遣・受入回 数	0	1	2	2	1	回	a:目標達成
17	町道16路線の整備エリアの整備率	3,106	4,448	5,117	5,786	6,400	m %	b:一定進捗
		48.5	69.5	80.1	90.4	100		
17	橋りょう保全改修数	5	6	6	6	9	橋 %	b:一定進捗
		55.6	66.7	66.7	66.7	100		
18	空き家バンク登録件数（累計）	54	73	82	94	100	件	b:一定進捗
18	お試し移住・体験者数（年間）	3	5	7	10	20	件	b:一定進捗
19	花いっぱい運動参加団体数	23	28	28	29	25	団体	a:目標達成
19	美化清掃参加団体数	30	28	32	32	35	団体	b:一定進捗
19	不法投棄パトロール回数	25	33	31	35	30	回	a:目標達成
19	有害野生鳥獣（猪）捕獲数 （3か年平均）	73	59	44	41	70	頭	c:実績以下
20	水道事業における有収水量率	84.9	84.1	84.0	83.4	85.9	%	c:実績以下
20	第1号公共下水道整備率	89.8	90.5	90.5	90.6	98.6	%	b:一定進捗
20	第2号公共下水道整備率	78.7	78.9	78.9	79	88.6	%	b:一定進捗
21	パークアンドサイクルの年間利用件数	4,466	4,874	5,917	6,554	4,500	件	a:目標達成
22	ごみの資源化率	5.8	5.4	5.5	5.7	12.0	%	c:実績以下
22	ごみの焼却処理量	13,956	12,199	12,434	12,632	13,100	トン	a:目標達成
23	資源保全基金の年間寄付金額	4,799	4,150	4,666	4,188	6,000	千円	c:実績以下
23	豊かな森林づくり（水源かん養）の実施面積 （実施町有地の延面積）	145	249	279	338	499	ha	b:一定進捗
23	間伐材搬出促進事業に係る搬出実施面積（累 計）	86	106	112	117	104	ha	a:目標達成
24	景観まちづくり協力店の認定件数（累計）	15	15	15	15	30	件	b:一定進捗
25	神奈川県西部地震の被害想定に基づく、避難 者及び帰宅困難者のための食料備蓄率	100	100	100	100	100	%	a:目標達成



施策 番号	目標とする指標	目標値					単位	R6指標の 達成状況
		R1 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)	R6 (実績)	R8 (目標)		
25	防災講演、出前出張講座等の依頼数に対する講演会等の実施回数	2	22	2	6	5	回	a:目標達成
25	木造住宅耐震診断費に対する年間助成件数	2	2	1	2	5	件	b:一定進捗
26	応急手当の普及啓発受講者数	602	408	816	553	750	人	c:実績以下
26	消防団員数	327	306	317	326	370	人	c:実績以下
27	町立小学校及び認定こども園・幼稚園・保育所での交通安全教室開催回数	7	7	7	7	7	回	a:目標達成
27	町内高齢者（65歳以上）へのドライビングスクールの参加者数	15	0	5	0	15	人	c:実績以下
27	消費生活に関する相談件数	44	41	40	39	50	件	c:実績以下
27	交通安全施設の重点点検	0	2	2	2	2	回	a:目標達成
28	観光協会ホームページのアクセス数	296	297	343	354	300	万回	a:目標達成
29	森のふれあい館の入館者数	14,208	15,178	13,559	14,834	18,000	人	b:一定進捗
29	箱根ジオミュージアムの入館者数	56,780	123,648	153,763	169,116	153,000	人	a:目標達成
29	箱根湿生花園の入館者数	78,369	65,925	55,620	50,080	92,000	人	c:実績以下
30	年間入込客数	1,896	1,736	1,951	2,031	2,000	万人	a:目標達成
30	観光産業融資利子補給事業の利用件数	4	0	0	0	10	件	c:実績以下
30	外国人宿泊観光客数	576,183	41,564	343,826	492,667	400,000	人	a:目標達成
30	箱根DMO公認観光ガイド	-	48	71	71	60	人	a:目標達成
31	箱根ジオパークサポーター登録者数	36	58	64	78	100	人	b:一定進捗
31	箱根ジオミュージアム入館者アンケートにおける箱根ジオパークの認知度	22.5	コロナにより未実施	20.2	25	80.0	%	b:一定進捗
32	畑宿寄木会館来館者数	9,947	9,695	10,955	12,082	13,000	人	b:一定進捗
32	寄木細工専用ホームページアクセス数	-	93,166	124,305	131,829	100,000	回	a:目標達成
33	活力あるまちづくり新規補助件数	1	4	1	1	3	団体	b:一定進捗
33	町政モニター延べ回答者数	31	110	100	55	240	人	b:一定進捗
34	行財政改革アクションプランの進捗率	33.0	37.0	31.0	35	100	%	b:一定進捗
34	町税徴収率（3か年平均）	94.9	93.8	95.0	95.2	95.2	%	a:目標達成
35	町民のSDGs認知度の向上	40.0	未実施	未実施	未実施	80.0	%	d:その他
35	箱根町SDGs推進計画（仮称）の策定	-	策定中	策定済	策定済	策定済	-	a:目標達成
36	新型コロナウイルス感染者数	-	1,493	-	-	0	人	d:その他
36	クラスター発生数	-	-	-	-	0	件	d:その他
36	避難所における新型コロナウイルス感染症新規感染者数	-	-	-	-	0	人	d:その他

（凡例）

a:目標達成（目標値に達している指標）

b:一定の進捗（目標値に達していないものの計画策定時の実績値から一定程度進捗が図れている指標）

c:実績以下（計画策定時の実績値を下回った指標）

d:その他（達成状況の判断のつかないもの）



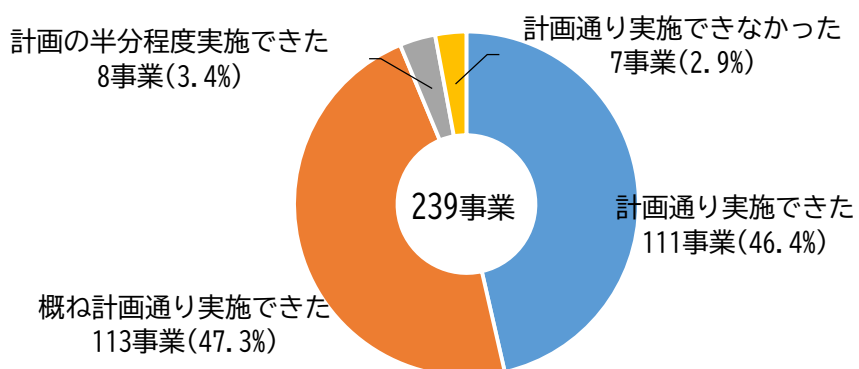
### (3) 事業の進捗状況

36の施策の展開に資する事業として令和6年度に位置付けた240事業のうち、「計画通り実施できた」ものが111事業(46%)、「概ね計画通り実施できた」ものが113事業(47%)となりました。一方、「計画の半分程度実施できた」ものは8事業(3%)あり、「計画通り実施できなかった」ものは7事業(3%)となりました。

(図表5) 基本目標別の事業の進捗状況

事業の進捗区分	基本目標						区分 合計	割合
	1	2	3	4	5	6		
計画通り実施できた	35	33	7	23	2	11	111	46.4%
概ね計画通り実施できた	23	12	19	15	34	10	113	47.3%
計画の半分程度実施できた	1	0	7	0	0	0	8	3.4%
計画通り実施できなかった	2	0	2	3	0	0	7	2.9%
合 計	61	45	35	41	36	21	239	100.0%

(図表6) 施策の進捗区分別の内訳



## 4 施策別の評価シート

### (1) 施策別の評価シートの見かた

施策別評価シートは、施策評価のツールとして、36の施策ごとに、施策の取組方針や成果指標に対して、施策の展開に資する事務事業の実施により、どのような成果が得られたか等について施策担当課が作成し、その結果をもとに施策責任者が施策の達成状況について評価したものです。施策別評価シートと記載内容の見かたは、次のとおりです。

#### 総合計画上の位置付け

重点施策の有無を示しています

#### 今後の取組方針

前期基本計画で定めた施策の取組方針を示しています。

#### 施策の展開

施策の展開項目と施策担当課、施策責任者を示しています。

### 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり

#### 施策1 健康づくりの推進

1 施策の概要				
重点施策	分野3 健康生活の推進〔施策の展開 1-1-1, 1-1-2, 1-1-7が該当〕			
今後の取組方針	<div>◇ 町民一人ひとりの健康づくりを支援するため、健康診査の受診勧奨及び周知徹底を図り、特定保健指導についても積極的な支援を図っていきます。また、人間ドックの補助金制度についても実施できるよう努めます。</div> <div>◇ 町内における一次医療機関の充実とかかりつけ医の推進を図るとともに、救急医療や災害時医療体制の整備・充実を推進します。</div>			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	1-1-1	健康づくり・食育の推進 ◎	保険健康課	福祉部長
	1-1-2	健康づくり・食育の支援 ◎		
	1-1-3	がん検診・成人歯科検診の受診促進		
	1-1-4	感染症対策の推進		
	1-1-5	特定健康診査、特定保健指導の促進		
	1-1-6	健康づくり・食育関係団体との協働		
	1-1-7	未病センターの充実 ◎		
	1-1-8	地域医療の充実		
	1-1-9	救急医療・災害時医療体制の整備・充実		

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析									
目標指標	1	特定健康診査の受診率（受診者数÷対象者数）（単位：％）							
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)
		31.3	30.7	35.7	34.0	34.1	34.6		34.0
目標指標	2	がん検診の受診率（受信者数÷対象者数）（単位：％）							
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)
		25.0	23.5	25.1	24.9	26.1	25.9		33.0
目標指標	3	温水プールの年間利用者数（単位：人）							
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)
		13,032	9,525	14,834	14,817	16,024	16,284		27,000
その他	1	健康づくり関係団体との共催イベント数（単位：件）							
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)
		49	8	29	31	37	33		
その他	2	食育サポートメイト養成数（食育サポートメイト養成講座の修了者数）（単位：人）							
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)
		2	0	1	1	0	2		

#### 目標指標

施策の具体的な目標の数値化と達成度を測る手段として設定した指標を示しています。

#### その他指標

目標とする指標以外の定量的な成果(実績)を示しています。

### 事務事業名

事務事業の名称を示しています。

### 事業の進捗度 今後の方向性

事業の進捗度や今後の方向性を方向性を示しています。

#### ※事業の進捗度

- ・計画通り実施できた
- ・概ね計画通り実施できた
- ・計画の半分程度実施できた
- ・計画通り実施できなかった

#### ※今後の方向性

- ・計画通り実施（予定）
- ・計画を変更し実施（予定）
- ・廃止
- ・休止

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	健康づくり推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	総合保健福祉センター整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	総合保健福祉センター利用促進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	特定健康診査等事業（国民健康保険特別会計）	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	生活習慣病予防推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
6	女性特有のがん検診推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
7	子宮頸がんワクチン接種事業	計画通り実施できた	廃止
8	風しん対策事業	計画通り実施できた	廃止
9	地域医療体制推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
10	地震等災害医療対策事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
11	休日急患救急医療推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
12	带状疱疹ワクチン接種事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
13	医療機関光熱水費高騰対策支援事業	計画通り実施できた	廃止

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	B 前年度：B	がん検診については、受診率の低い若年層を対象とした無料クーポン券事業や受診勧奨・再勧奨を積極的に行い、停滞が続いている受診率の向上に努めた。 特定健康診査については、健診受診者や未受診者についてのデータ分析や効果を検証するとともに未受診者への受診勧奨ハガキを送付するとともに人間ドック費用の一部を助成（費用の1/2、上限2万円）した。 町民の生活習慣の改善や効果的な健康づくり・食育を推進するために、健康づくり推進委員、食育サポートメイト六彩会、箱根元気会などの関係団体と町が協働して地域でのウォーキング活動や生活習慣病予防教室、食文化に関する教室などへの町民の参加を促した。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

### 施策の達成状況

指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業の評価等から総合的に評価した、施策の達成状況結果を示しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本的見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	②	地域や職域、医師会や歯科医師会等の関係機関と連携しつつ、健康づくりを推進し、箱根町健康増進計画・食育推進計画（第2次・後期計画）「健康・食育はこね21」に掲げる事業が滞りなく円滑に実施されるよう努めていく。 がん検診は若い世代の受診率が低く、成人歯科健康診査の受診率も、令和5年度から再勧奨も実施しているが、伸び悩んでいる。特定保健指導は、対象者に特定保健指導利用勧奨を実施しているが、保健指導の希望者が少ない。今後は健診未受診者への受診勧奨を積極的に実施し、受診率向上に努めるとともに、特定保健指導対象者に生活習慣や食生活の見直しを働きかけ、特定保健指導利用に繋げていく。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

### 今後の方向性

施策の成果等とともに上記の構成事業を踏まえ、実施計画のローリングに向けて、事業の見直し等を行う必要があるか等を検討した結果をもとに今後の方向性を示しています。

〔施策の進捗状況区分〕

記号	区 分	内 容
A	順調に推移した (目標達成又は進捗している)	施策に設定した成果指標が目標値に達している又は目標値に向かって進捗しており、施策の展開に資する事務事業が順調に推移した施策
B	一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある)	施策に設定した成果指標の多くが計画策定時の実績値から目標値に向かって一定の進捗があり、施策の展開に資する事務事業が概ね順調に推移した施策
C	進捗が遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)	施策に設定した成果指標のうち、計画策定時の実績値を下回る指標が多い施策や、施策の展開に資する事務事業のうち複数の事業が遅れた施策
D	進捗が大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	施策に設定した成果指標のうち、計画策定時の実績値を大幅に下回る指標が多い施策や、施策の展開に資する事務事業のうち複数の事業が大幅に遅れた施策

〔今後の方向性の区分〕

記号	区 分	内 容
①	現状のまま継続する (効果的な事業構成である)	効果的な事業構成であり、現状のまま継続すれば目標年次(R8)に成果指標や定性的な成果が見込まれる施策
②	一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である)	概ね効果的な事業構成であるものの、目標年次(R8)に成果指標や定性的な成果を得るためには、事業の一部で見直しが必要な施策
③	見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない)	あまり効果的な事業構成ではないため、目標年次(R8)に成果指標や定性的な成果を得るためには、事業の多くで見直しが必要な施策
④	抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	事業構成に問題があるため、目標年次(R8)に成果指標や定性的な成果を得ることが困難であり、構成事業の抜本的な見直しが必要な施策

## (2) 施策評価結果一覧・施策別評価シート

施 策		評価結果		施策別 評価シート のページ
		施策の 進捗状況	今後の 方向性	
1	健康づくりの推進	B	②	16
2	子育て支援の充実	B	②	18
3	地域福祉の充実	B	②	20
4	高齢者福祉の充実	B	②	22
5	障がい者福祉の充実	B	②	24
6	社会保障の充実	B	②	26
7	ワーク・ライフ・バランスの実現	B	②	28
8	学校教育の充実	B	①	30
9	生涯学習の推進	B	②	32
10	文化・芸術活動の推進	B	①	34
11	家庭教育の充実	B	①	36
12	青少年の健全育成	B	①	38
13	文化財の保護と活用	C	②	40
14	スポーツ活動の推進	B	①	42
15	男女共同参画・人権尊重の推進	B	①	44
16	多文化交流の実現	B	②	46
17	道路・交通網の充実	A	①	48
18	住環境の整備	B	②	50
19	生活環境の整備	A	①	52
20	上下水道の整備	B	②	54
21	地域交通の利便性の確保	A	①	56
22	循環型社会の形成	B	①	58
23	自然環境の保全	B	②	60
24	景観の保全・形成	B	②	62
25	防災対策の推進	B	①	64
26	消防・救急対策の充実	B	②	66
27	交通安全・防犯の充実	B	②	68
28	観光資源の開発と活用	B	②	70
29	観光拠点整備と魅力向上	B	③	72
30	多様な観光資源を活用した誘客と受入態勢の整備	B	②	74
31	箱根ジオパークの推進	B	②	76
32	伝統産業や観光行事の振興	B	②	78
33	協働のまちづくりの推進	B	②	80
34	計画的な行財政運営	B	①	82
35	S D G s の推進	B	②	84
36	コロナ対策の推進	A	①	86

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり

### 施策1 健康づくりの推進

1 施策の概要			
重点施策	分野3 健康生活の推進〔施策の展開 1-1-1, 1-1-2, 1-1-7が該当〕		
今後の取組方針	<p>◇ 町民一人ひとりの健康づくりを支援するため、健康診査の受診勧奨及び周知徹底を図り、特定保健指導についても積極的な支援を図っていきます。また、人間ドックの補助金制度についても実施できるよう努めます。</p> <p>◇ 町内における一次医療機関の充実とかかりつけ医の推進を図るとともに、救急医療や災害時医療体制の整備・充実を推進します。</p>		
施策の展開	施策の展開	施策担当課	施策責任者
	1-1-1 健康づくり・食育の推進 ◎ 1-1-2 健康づくり・食育の支援 ◎ 1-1-3 がん検診・成人歯科検診の受診促進 1-1-4 感染症対策の推進 1-1-5 特定健康診査、特定保健指導の促進 1-1-6 健康づくり・食育関係団体との協働 1-1-7 未病センターの充実 ◎ 1-1-8 地域医療の充実 1-1-9 救急医療・災害時医療体制の整備・充実	保険健康課	福祉部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	特定健康診査の受診率（受診者数÷対象者数）(単位：％)						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		31.3	30.7	35.7	34.0	34.1	34.6	34.0
目標指標	2	がん検診の受診率（受信者数÷対象者数）(単位：％)						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		25.0	23.5	25.1	24.9	26.1	25.9	33.0
目標指標	3	温水プールの年間利用者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		13,032	9,525	14,834	14,817	16,024	16,284	27,000
その他	1	健康づくり関係団体との共催イベント数（単位：件）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		49	8	29	31	37	33	
その他	2	食育サポートメイト養成数（食育サポートメイト養成講座の修了者数）（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		2	0	1	1	0	2	



3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	健康づくり推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	総合保健福祉センター整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	総合保健福祉センター利用促進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	特定健康診査等事業（国民健康保険特別会計）	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	生活習慣病予防推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
6	女性特有のがん検診推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
7	子宮頸がんワクチン接種事業	計画通り実施できた	廃止
8	風しん対策事業	計画通り実施できた	廃止
9	地域医療体制推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
10	地震等災害医療対策事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
11	休日急患救急医療推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
12	带状疱疹ワクチン接種事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
13	医療機関光熱水費高騰対策支援事業	計画通り実施できた	廃止

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	B 前年度：B	がん検診については、受診率の低い若年層を対象とした無料クーポン券事業や受診勧奨・再勧奨を積極的に行い、停滞が続いている受診率の向上に努めた。 特定健康診査については、健診受診者や未受診者についてのデータ分析や効果を検証するとともに未受診者への受診勧奨ハガキを送付するとともに人間ドック費用の一部を助成（費用の1/2、上限2万円）した。 町民の生活習慣の改善や効果的な健康づくり・食育を推進するために、健康づくり推進委員、食育サポートメイト六彩会、箱根元気会などの関係団体と町が協働して地域でのウォーキング活動や生活習慣病予防教室、食文化に関する教室などへの町民の参加を促した。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本的見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	②	地域や職域、医師会や歯科医師会等の関係機関と連携しつつ、健康づくりを推進し、箱根町健康増進計画・食育推進計画（第2次・後期計画）「健康・食育はこね21」に掲げる事業が滞りなく円滑に実施されるよう努めていく。 がん検診は若い世代の受診率が低く、成人歯科健康診査の受診率も、令和5年度から再勧奨も実施しているが、伸び悩んでいる。特定保健指導は、対象者に特定保健指導利用勧奨を実施しているが、保健指導の希望者が少ない。今後は健診未受診者への受診勧奨を積極的に実施し、受診率向上に努めるとともに、特定保健指導対象者に生活習慣や食生活の見直しを働きかけ、特定保健指導利用に繋げていく。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり

### 施策2 子育て支援の充実

1 施策の概要			
重点施策	分野2 若者定住の促進〔施策の展開 1-2-3, 1-2-9が該当〕		
今後の取組方針	<p>◇「箱根町第2次子ども・子育て支援事業計画」に基づき、総合的に各種施策を推進し、子育て支援制度の周知と利用促進を図ります。</p> <p>◇子育ての課題に応じた施策に総合的に取組むことで、子どもの最善の利益の確保や少子化対策を推進していきます。</p>		
施策の展開	施策の展開	施策担当課	施策責任者
	1-2-1 子育て相談・支援体制の充実 1-2-2 母子等の健康の確保及び増進 1-2-3 地域における子育ての支援 ◎ 1-2-4 保育サービスと放課後児童対策の充実 1-2-5 質の高い教育・保育の推進 1-2-6 子どもの人権擁護の推進 1-2-7 ひとり親家庭等への支援 1-2-8 子どもの貧困対策の推進 1-2-9 子育てしやすい住環境づくり ◎ 1-2-10 子育て世代への負担軽減	子育て支援課  都市整備課  生涯学習課	福祉部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	認定こども園・保育所待機児童数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		0	0	0	0	0	0	0
	2	放課後児童クラブ待機児童数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		0	0	0	0	0	0	0
その他	3	乳幼児健康診査受診率（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		94.4	87.9	92.2	101.6	100.6	100.8	100
その他	4	子育て支援講座参加者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		6	0	23	27	16	32	30
その他	5	放課後子ども教室参加児童数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		28	22	28	27	55	50	30
その他	1	シェアコンシェルジュ登録人数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		0	0	0	9	4	31	



3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	子育て支援センター等運営事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	箱根っこわくわくふれあい事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	乳幼児保育等利用費補助事業	計画通り実施できなかった	計画通り実施（予定）
4	子育てシェアタウン推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	小児医療費助成事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
6	母子保健推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
7	放課後子ども教室運営事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
8	認定こども園整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
9	箱根保育教育推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
10	放課後児童健全育成事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
11	こども宅食サービス事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
12	こども家庭センター運営事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
13	こども計画策定事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
14	夜間保育施設補助事業	計画通り実施できなかった	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	B 前年度：B	こども家庭センター運営事業を通じ、相談・訪問や講座の実施など、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供した。 幼児教育・保育の完全無償化及び学校給食無償化に加えて、「はこねっこ誕生祝金」の支給など、町独自の経済支援を継続・拡充し、子育て世代の負担軽減を図った。 一時保育等の保護者のニーズに合わせた事業を実施した他、町内4カ所の放課後児童クラブを運営し、児童の健全な育成を図った。 少子高齢化が深刻化する中、町民が子育てしやすい環境の整備を図った。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本的見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	②	近年増加する外国人の子育て世帯についても、様々な支援を確実に実施する必要がある、また保育については、全国的な人材不足により保育者の確保が難しいため、土曜保育時間の延長等が困難な状況である。 保育サービスについては、引き続き保育者の確保を図るとともに、母子保健と児童福祉の機能を一体化したこども家庭センターを中心に、引き続き相談・訪問や講座の実施など、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施していく。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり

### 施策3 地域福祉の充実

1 施策の概要			
重点施策	分野1 防災力の強化〔施策の展開 1-3-4が該当〕 分野3 健康生活の推進〔施策の展開 1-3-3, 1-3-6, 1-3-7が該当〕 分野5 持続可能なまちづくり〔施策の展開 1-3-3が該当〕		
今後の取組方針	◇ 町民自らが福祉に取り組む地域福祉のまちづくりを目指し、地域による見守り体制の構築に努めます。 ◇ 複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築し、重層的支援を行えるよう努めます。 ◇ 住み慣れた地域で安全・安心な生活が持続できるよう、ともに生きる地域福祉体制の構築を図り、共生社会を目指します。		
施策の展開	施策の展開		施策担当課
	1-3-1 福祉意識の向上 1-3-2 地域で取り組む認知症対策の推進 1-3-3 見守り活動・福祉活動への理解促進 ◎ 1-3-4 安全対策の充実 ◎ 1-3-5 健康づくり・介護予防の充実 1-3-6 地域交流・異世代交流の推進 ◎ 1-3-7 ボランティア活動の推進 ◎ 1-3-8 情報提供・相談体制の充実 1-3-9 各種サービスの充実 1-3-10 社会福祉協議会への支援		町民課 福祉課 保険健康課
			福祉部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	ボランティア団体数						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		10	10	10	10	9	9	12
	2	住民交流会（サロン）設置地域数（単位：団体）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		5	5	5	5	5	5	5
その他	1	住民交流会（サロン）設置団体数（単位：団体）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		11	11	11	11	11	11	12
	2	民生委員・児童委員の充足率（年度末現員数／定員数*100）（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		97.7	97.7	97.7	100.0	100.0	97.7	

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	認知症見守り支援事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	生活支援体制整備事業（介護保険特別会計）	計画の半分程度実施できた	計画通り実施（予定）
3	介護予防普及啓発事業（介護保険特別会計）	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	保健福祉サービス調整機構運営事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	箱根町社会福祉協議会運営補助事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
6	地域支え合い推進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
7	特別支援給付金給付事業	概ね計画通り実施できた	廃止
8	緊急支援給付金給付事業	概ね計画通り実施できた	廃止
9	定額減税調整給付金給付事業	概ね計画通り実施できた	廃止
10	物価高騰対策給付金給付事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	B 前年度：B	民生委員児童委員やチームオレンジ等の協力のもと、地域での見守り体制の強化に努めた。 各地域の健民祭等で出張健康測定会及び大腸がんクイズラリーを実施し、健康意識の向上や大腸がんの普及啓発を図った。また、スキマ時間で健康づくりに取り組めるよう、動画「箱根町スキマ時間で運動」を作成し、町公式YouTubeチャンネルで公開しつつ、集団検診等の対面できる場で普及を図った。 老人クラブへの加入促進やボランティアセンター・社会福祉協議会の運営を支援した。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本的見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	②	民生委員・児童委員は、各地域で後任の推薦が難しくなっているので、自治会と連携し、民生委員・児童委員の確保に向けた対策の取組みに繋げていく。 災害時要援護対象者支援登録等については、援護する側の高齢化により協力が難しくなってきているので、引き続き幅広い世代の町民に周知を図っていく。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり

### 施策4 高齢者福祉の充実

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	<p>◇ 高齢者が住み慣れた地域で尊厳を保持し、自立生活の支援の目的のもとで、いつまでも暮らし続けられるよう、地域共生社会の実現と地域包括ケアシステムの深化を目指します。</p> <p>◇ 老人クラブでの活動、外出支援策、介護予防体操などを通じて、高齢者の社会参加などの取組みを促進します。</p> <p>◇ 令和3（2021）年3月に更新した「第8期箱根町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、保健・医療・福祉の連携を図りながら、健康づくりや介護サービスの円滑な実施に努めます。</p> <p>◇ 継続的に長寿健康診査を受診してもらえるよう効果的な受診勧奨の実施に努めます。</p>		
施策の展開	施策の展開		施策担当課
	<p>1-4-1 地域包括ケアシステムの構築</p> <p>1-4-2 地域支援事業の充実</p> <p>1-4-3 在宅福祉サービスの充実</p> <p>1-4-4 地域包括支援センターの機能強化</p> <p>1-4-5 高齢者の生きがい・やりがいづくりの推進</p> <p>1-4-6 長寿健康診査受診率の向上</p> <p>1-4-7 高齢者の健康増進対策</p> <p>1-4-8 権利擁護の推進</p> <p>1-4-9 高齢者サポート施策の実施</p> <p>1-4-10 保険と介護予防の一体化事業の推進</p>		福祉課 保険健康課
			福祉部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	ひとり暮らし老人緊急通報システム事業の設置世帯数（単位：世帯）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		35	35	33	31	30	30	50
	2	長寿健康診査の受診率（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		36.6	38.1	32.7	36.0	34.8	35.6	40
	3	配食サービス事業の年間延べ配食数（単位：食）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		5,996	5,393	4,903	4,875	3,827	4,331	6,300
	4	老人クラブの会員数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		593	493	436	395	369	349	565

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	地域包括支援センター運営事業（介護保険特別会計）	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	成年後見制度利用支援事業（介護保険特別会計）	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	老人生きがい対策事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	高齢者サポート事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	箱根町シルバー人材センター運営補助事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
6	認知症施策推進事業（介護保険特別会計）	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
7	在宅医療・介護連携推進事業（介護保険特別会計）	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
8	介護サービス利用者支援事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
9	家族介護教室開催事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
10	地域自立生活支援事業（介護保険特別会計）	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
11	後期高齢者保健事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
12	保健と介護予防の一体化事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
13	老人福祉センターやまなみ荘整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
14	配食サービス事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
15	はり・きゅう・マッサージサービス事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
16	敬老祝金支給事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
17	介護保険事業所光熱水費等高等対策支援事業	計画通り実施できた	廃止

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	B 前年度：B	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、在宅医療と介護の連携をはじめ、認知症施策の推進、運動教室など一般介護予防事業の推進、高齢者バス回数券購入助成、ごみ出し支援、買い物支援など生活支援体制整備事業の推進を通じて地域支援事業を構築した。 敬老会・はつらつスポーツ大会・老人グラウンドゴルフ大会・老人大学等を通じて、高齢者の生きがいの高揚と相互交流を図った。 認知症が進行し施設入所などの手続き行為ができなかったり、金銭管理ができなくなったりした方の権利を守るため、成年後見人制度に基づく、町長申立てを実施し、対象者の権利擁護を図った。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本的見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	②	高齢者が増加しているにもかかわらず、老人クラブの加入者数が減少していることから、加入するメリットなどがあるような取り組みを一層、検討していく必要があり、また、高齢者の移動支援についても検討していく必要がある。 高齢者が住み慣れた地域で尊厳を保持し、自立生活の支援の目的のもとで、いつまでも暮らし続けられるよう、引き続き、地域共生社会の実現と地域包括ケアシステムの深化に努める。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。



## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり

### 施策5 障がい者福祉の充実

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 障がいのある方もない方も住み慣れた地域でその人らしく自立し、安心して暮らしたいきいきと社会参加できるまちを目指します。 ◇ 障がいのある方の地域生活への支援、社会参加の促進、人にやさしいまちづくりの推進を図り、ライフステージに応じた切れ目のない包括的な支援の充実を図ります。		
施策の展開	施策の展開		施策担当課
			施策責任者
	1-5-1	サービスの充実	福祉課
	1-5-2	権利擁護のための施策の充実	
	1-5-3	差別の解消	
	1-5-4	地域生活支援の促進	
	1-5-5	発達障がい者等に対する支援	
			福祉部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	在宅障がい児の機能訓練会等への参加者数（年間延べ人数）（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		218	132	178	205	152	129	230
	2	訪問系サービス利用者数（人／月）（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		10	13	13	8	10	10	13
	3	施設入所者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		17	16	15	13	12	10	15

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	在宅重度障がい者等支援事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	心身障がい者福祉等推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	地域活動支援センター事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度: B	人工透析者、重度障がい者等を対象に、タクシーの運賃又は自動車燃料費の一部助成を行うとともに、知的障がい者・精神障がい者等施設通所交通費扶助、在宅心身障がい児機能回復訓練・言語訓練・療育指導の事業を行い、障がい福祉の充実を図った。 地域活動支援センターを開設し、障がい者等の地域生活支援の促進を図った。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	地域活動支援センターは、利用者が減少傾向なので、新規利用者の確保のため、センター内での作業内容について検討を行う。 発達障がい者等の早期発見・早期支援には、発達障がい者等及びその家族への支援が重要であり、保護者が子どもの発達障がいの特性を理解し必要な知識や方法を身に付け適切な対応ができるよう関係機関と連携し支援を充実させる。 知的障がい、精神障がい等により判断能力が十分でない方への支援として、社会福祉協議会が実施している日常生活自立支援事業の利用や成年後見人制度の周知と利用促進を図る。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり

### 施策6 社会保障の充実

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	<p>◇ 適正な保険料の決定と収納率の向上、保険給付の適正化に努め、国民健康保険・介護財政の安定化を図ります。</p> <p>◇ 一層の高齢社会に備えるため、安定した基盤の構築を進めます。</p>		
施策の展開	施策の展開		施策担当課
			施策責任者
	1-6-1	医療費の適正化	福祉課 保険健康課
	1-6-2	保険料率の見直し	
	1-6-3	収納率の向上	
	1-6-4	介護保険の適正運営	
	1-6-5	介護従事者の確保と資質の向上	
			福祉部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	国民健康保険料の収納率（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		80.9	81.5	85.2	86.9	86.4	88.0	83.0
	2	高齢者の健康相談件数（単位：件）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		166	505	781	55	30	390	309

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	国民健康保険特別会計繰出金	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	後期高齢者医療特別会計繰出金	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	介護保険特別会計繰出金	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	介護従事者等支援事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）



4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度:B	国民健康保険料については、新型コロナウイルス感染症の影響による被保険者の収入減や物価高騰の経済的な影響を考慮して、保険料率の算定を行なった。 ジェネリック医薬品推奨通知をはじめ医療費通知、特定健康診査の受診勧奨ハガキを発送するとともに特定保健指導対象者への保健指導を実施した。 介護従事者に対し、町指定の日帰り温泉入浴施設の利用券を発行するとともに、介護職員初任者研修課程修了者や居宅介護支援事業所が新たにケアマネジャーを雇用した際に補助金を交付した。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	健診未受診者への受診勧奨を実施し、受診率向上に努めるとともに、特定保健指導対象者に生活習慣や食生活の見直しを働きかけ、特定保健指導利用に繋げていく。 収納率については、口座振替の推奨やコンビニ納付の周知に加え、電話催告や催告書発行の回数を増やし、新規未納者を増やさないよう注力し、更なる収納率の向上を図る。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり

### 施策7 ワーク・ライフ・バランスの実現

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、男女ともに家庭や地域活動に参画し、生きがいをもって生活していくために、長時間労働の是正や多様な働き方のできる就業環境づくりを推進していきます。		
施策の展開	施策の展開	施策担当課	施策責任者
	1-7-1 情報提供及び普及啓発 1-7-2 育児休暇取得の推進 1-7-3 健診受診率の向上 1-7-4 スポーツイベント、教室の開催 1-7-5 家族等で共に子育てする意識の醸成 1-7-6 保育サービス等の充実	町民課 総務防災課 子育て支援課 保険健康課 生涯学習課	福祉部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	認定こども園・保育所待機児童数（再掲）（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		0	0	0	0	0	0	0
	2	子育て支援講座参加者数（再掲）（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		6	0	23	27	16	32	30
	3	男女共同参画講演会満足度（アンケート）（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		-	-	-	100	100	100	80

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	該当事業なし		

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	B 前年度：B	長時間労働是正や多様な働き方のできる就業環境づくり等、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、町民や町内事業者のニーズに見合うテーマの講演会や啓発誌の作成等を行い、普及啓発に努めるとともに、役場男性職員の育児休暇取得を推進した。 「若い世代のがん検診」として、20～30歳代の若年層や子育て世代の女性が受診しやすいように、乳がん検診及び子宮がん検診を託児付で実施するとともに、就労している方のために集団健（検）診の休日実施日数を増やした。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本的見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	②	<p>講演会等は、町内事業所や働く世代の参加のニーズにあったテーマを検討し、さらなる集客に努める。</p> <p>職員へは、両立支援制度の周知や制度利用・働き方の意向聴取及び聴取した意向への配慮を行い、職員が子の年齢に応じた柔軟な働き方を選択できるよう支援する。</p>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

### 施策8 学校教育の充実

1 施策の概要			
重点施策	分野2 若者定住の促進〔施策の展開 2-8-1が該当〕		
今後の取組方針	◇ 先人から文化・伝統・歴史を受け継ぎ、未来に大きな理想と明るい希望を持って、健康で豊かな生活を目指し、箱根を愛し、貢献できる人を育む「箱根教育」をさらに深化・推進し、各園・学校が共通して「箱根教育」に取り組むとともに、各園・学校の特色を活かした教育にも取り組み、「園・小・中一貫教育（分離型）」を推進します。		
施策の展開	施策の展開		施策担当者
	2-8-1 園・小・中学校一貫教育（分離型）の推進 ◎ 2-8-2 箱根を知り、箱根を語る子どもの育成～箱育～ 2-8-3 確かな学力を身に付けた子どもの育成～知育～ 2-8-4 心豊かでより良い人間関係を築ける子どもの育成～徳育～ 2-8-5 健康で意欲的に挑戦できる子どもの育成～体育～ 2-8-6 地域の特色を活かした学校づくり 2-8-7 特別支援教育の充実 2-8-8 教育環境の整備 2-8-9 通学支援制度等の維持 2-8-10 学校給食費の一律無償化 2-8-11 学習機会の提供	学校教育課	教育次長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	町内小・中学校児童・生徒の地域行事への参加率（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		75.8	コロナにより未実施	65.0	65.5	70.9	75.8	80.0
	2	町内小・中学校児童・生徒の読書量が1日30分以上の割合（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		62.6	コロナにより未実施	32.5	35.3	29.7	33.4	70.0
	3	それぞれの子どもが持っている自尊感情（自分が大切な存在であると感じること）の度合い（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		65.0	67.0	68.3	68.4	74.6	76.9	70.0
その他	1	英語検定受験料の補助人数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		79	101	109	96	70	52	

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	箱根教育推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	I C T活用教育推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	生きた英語教育事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	英語検定取得促進事業（教育総務費）	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	箱根土曜塾運営事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
6	教育相談センター事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
7	子どものための図書推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
8	スクールのマネジメント事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
9	学校給食無償化事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
10	小学校校舎等整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
11	中学校校舎等整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
12	中学校給食施設等整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
13	高等学校等通学費補助事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
14	学校施設長寿命化事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
15	箱根幼稚園昼食費補助事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	B 前年度：B	各種事業を計画どおり実施したことにより、箱根町教育振興基本計画に掲げた内容を推進することができました。 施策の推進にあたっては、教育委員会職員とともに、各園・小中学校長等で構成する「園・小・中一貫教育推進会議」を始めとした各種プロジェクトにおいて、各園・学校の教職員が主体的に取り組んでおり、児童・生徒に寄り添った教育環境が整えられています。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本的見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	①	社会環境の変化や児童・生徒の状況にあわせて見直すべきところには手を加えつつ、箱根町教育振興基本計画に掲げた4つの柱（箱育（地域教育）・知育（学力）・徳育（心の教育）・体育（体力づくり））に沿った箱根教育を進めていきます。 それぞれの園・学校は、地域や関係団体等と連携をしながら特色ある取り組みを展開し、教育の充実に努めていきます。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

### 施策9 生涯学習の推進

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 箱根教育の合言葉である「箱根を愛し、かしこく、やさしく、たくましく」を具現化するため、生涯学習の目標を「箱根を知り、箱根を語れる人づくり、輪づくり」とし、生涯学習の推進を図ります。		
施策の展開	施策の展開		施策担当課
			施策責任者
	2-9-1	箱根教育における生涯学習の推進	生涯学習課
	2-9-2	生涯学習機会の充実	
	2-9-3	生涯学習における情報の提供及び活動の支援	
	2-9-4	生涯学習施設の維持管理	
	2-9-5	図書サービスの向上	
			教育次長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	全公民館の年間利用者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		25,120	14,469	20,029	24,649	24,170	24,551	15,000
	2	町民一人当たりの図書貸出冊数（単位：冊）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		1.89	1.62	2.04	1.94	1.90	1.69	2.00
	3	自治学習出張講座の利用件数（単位：件）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		3	2	2	3	2	4	5
	4	生涯学習フェスティバル登録行事数（単位：回）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		3	5	1	2	2	5	5

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	公民館学習・文化事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	英語検定取得促進事業（社会教育費）	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	公民館整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	移動図書館運営事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	ブックスタート運動推進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
6	公民館図書整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度: B	公民館の利用者数など一部の目標値は達成していますが、横ばいのものも見られます。 施策全体としては、概ね計画通り実施できているので、引き続き目標値の達成に向けて内容の精度を高めていきます。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	人口減少や少子高齢化、本町特有の地理要因といった構造的課題に加え、個々人のライフスタイルやコロナ禍による行動様式の変化は、町民の生涯学習活動の実践やその支援に大きな影響を与えています。 これらの課題を考慮しながら、社会環境やニーズの変化にあった学習機会が確保できるよう工夫をしていく必要があります。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。



## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

### 施策10 文化・芸術活動の推進

1 施策の概要			
重点施策	分野3 健康生活の推進〔施策の展開 2-10-1が該当〕		
今後の取組方針	◇ 地域に根ざした文化・芸術活動を育成・支援します。 ◇ 優れた芸術作品に触れることで、文化・芸術活動に関心を高められるような機会の提供に努めます。 ◇ 文化・芸術活動を通じて多世代交流ができる機会の創設などを研究します。		
施策の展開	施策の展開	施策担当課	施策責任者
	2-10-1 地域に根ざした文化・芸術活動の支援 ◎ 2-10-2 文化・芸術活動の支援及び鑑賞機会の充実 2-10-3 文化・芸術を通じた多世代間交流の促進	生涯学習課	教育次長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	町民文化祭の参加人数（単位：人）						
		元年度（基準）	2年度（実績）	3年度（実績）	4年度（実績）	5年度（実績）	6年度（実績）	7年度（実績）
		527	428	471	475	540	687	550

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	生涯学習フェスティバル開催事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	B 前年度：B	10月・11月には、集中的に文化・芸術・スポーツに関連した各種事業を開催しています。 コロナ禍で減少した町民文化祭の参加人数も目標指数を達成しました。引き続き町民の文化・芸術活動の支援を行っていきます。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本的見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	①	人口減少や少子高齢化により文化・芸術活動に関わる町民の減少という課題がありますが、町では日ごろの活動の成果を発表する場や鑑賞する機会を設け、町民の生涯学習活動の充実と交流機会の提供を行っていきます。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。





## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

### 施策11 家庭教育の充実

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	<p>◇ 子どもの成長期に大きな影響を及ぼす「家庭教育」について、新しい生活様式に即し啓発の実施や研修機会を提供します。</p> <p>◇ 新しい生活様式に即した関係団体等との連携、親子でのふれあいの機会の提供など、家庭教育の充実を図ります。</p>		
施策の展開	施策の展開		施策担当者
	2-11-1 箱根教育における家庭教育の推進 2-11-2 講演会・研修会の実施 2-11-3 関連機関・協力団体との連携	生涯学習課	教育次長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	家庭教育講座参加者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		77	0	0	57	74	89	80
	2	幼保小中学校での家庭教育に関する取組数（単位：件）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		34	0	0	0	4	4	12
	3	広報等での家庭教育啓発記事数単位：件）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		6	6	6	6	6	6	6

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	家庭教育推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	B 前年度：B	子ども会の解散など学校外での教育・体験の場が失われていくなかで、各学校・PTAと連携して「家庭教育講座」を実施することで、家庭での教育力の向上を図ってきました。 「広報はこね」へ家庭教育に関するコラムを掲載し、町の社会教育施策として家庭教育力の向上と支援を図りました。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本の見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	①	保護者の地域活動への参画に意識の変化が見られますが、本施策の本来の目的である「家庭の教育力の向上」を目指せるよう、地域、PTA、子ども会などの資源を活用しながら、啓発や講座の開催などの取組みを実施していきます。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

### 施策12 青少年の健全育成

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 町の未来を拓く人材である青少年の健全な育成に取り組むとともに、全町的な環境づくりを推進します。 ◇ 地域を担う人材の育成を図るため、全町的な多世代交流の機会提供に努めます。		
施策の展開	施策の展開	施策担当課	施策責任者
	2-12-1 青少年の健全育成事業の推進 2-12-2 青少年の意欲と協調性の育成 2-12-3 健全育成の環境づくり 2-12-4 人材の育成	生涯学習課	教育次長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	青少年関係事業への児童・生徒の参加率（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		20.0	0.0	0.0	23.3	16.0	18.0	20.0

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	該当事業なし		

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	B 前年度：B	少子化という構造的な課題を抱えつつ、青少年指導員や子ども会等を中心に各種事業を実施しています。 家庭でのライフスタイルが多様化していくなかで、関係団体・関係者の尽力により、一定の進捗・効果を得ています。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本的見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	①	人口減少や社会の個人化により、青少年を指導・育成していく大人の減少が課題となっています。 地域や世代を越えた指導・育成を模索する動きが地域コミュニティで見られますので、引き続き関係団体・関係者への支援を行っていきます。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。



## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

### 施策13 文化財の保護と活用

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	<p>◇ 箱根の歴史・文化遺産や貴重な天然記念物を未来に伝えていくため、現況を的確に把握し、適切な保護対策を実施してその継承を図ります。特に箱根旧街道や箱根関所については、計画的に維持管理や整備、改修等を実施します。</p> <p>◇ 町内の文化遺産や自然遺産についての理解を深め、文化財保護意識の醸成を図るため、インターネットや郷土資料館・箱根関所資料館の展示、印刷物等を活用した情報発信や、探訪会や体験学習などの文化財を活用したイベントの開催を積極的に進めるとともに、文化財ボランティアの育成を図ります。</p> <p>◇ 箱根の歴史や文化を学ぶことができる学習施設の機能充実などの環境整備を図ります。</p>		
施策の展開	施策の展開		施策担当課
	2-13-1 文化・自然遺産の保護・継承と活用 2-13-2 文化財ボランティアの育成 2-13-3 箱根の歴史や文化を学ぶ学習施設の機能充実と整備 2-13-4 日本遺産の保全・整備		生涯学習課
			施策責任者
			教育次長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	箱根関所入館者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		280,017	116,900	127,024	198,174	226,172	223,691	400,000
	2	郷土資料館入館者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		6,992	3,193	4,359	4,276	5,136	4,919	10,000
	3	文化財ボランティア数（延活動人数）（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		54	0	0	8	8	59	100
	4	郷土資料館所蔵資料の利用点数（単位：点）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		48	27	50	139	85	37	100
	5	箱根関所学校利用プログラム利用件数（単位：件）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		96	43	51	67	87	82	150

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	郷土資料館展示開催等教育普及事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	史跡整備事業	計画通り実施できた	計画変更し実施（予定）
3	箱根旧街道保護対策事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	近代化遺産調査・活用事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	文化遺産情報発信事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
6	箱根探訪推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
7	郷土資料館整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
8	箱根関所整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
9	箱根関所歴史文化推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
10	箱根関所誘客宣伝事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
11	文化財保存管理事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
12	箱根関所復元再整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	C 前年度：C	杉並木をはじめとする箱根旧街道や各種の文化財等適切な保護・保存の取り組みは概ね計画通り実施できており、引き続き、保護・活用を図っていきます。 一方で、箱根関所入館者数など、重要業績評価指標（KPI）に設定した項目のいずれもが計画期間中、大きく目標値を下回り続けています。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本的見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	②	文化財の保護・保存には多額の費用を要することから、国の補助制度を活用しながら、計画的かつ現実的な整備を進めていきます。 箱根関所では、親睦団体旅行の回復は期待できないことから、個人旅行、教育旅行、外国人観光客の取り込みを図るよう、展示内容の充実やイベントの開催、誘客活動の強化を進めていきます。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当が評価しています。



## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

### 施策14 スポーツ活動の推進

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の 取組方針	◇ 町民がスポーツやレクリエーション活動に親しみ、生涯を通じて心身ともに健康に暮らすことができるようにします。 ◇ スポーツイベントを通じ、全町的な多世代交流の促進に努めます。		
施策の展開	施策の展開	施策担当課	施策責任者
	2-14-1 地域スポーツ活動の推進 2-14-2 ニュースポーツの普及及び運動をととした健康づくりの推進 2-14-3 スポーツ施設の機能と運営の充実 2-14-4 スポーツ・レクリエーション推進体制の充実及びイベントの開催	生涯学習課	教育次長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	箱根路森林浴ウォーク町民参加者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		63	0	0	24	28	28	150
	2	箱根町総合体育館の稼働率（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		40.5	37.1	26.3	34.0	38.6	35.6	50.0
	3	スポーツ教室・大会等開催回数（単位：回）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		3	0	0	1	3	2	5

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	総合体育館整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	箱根町文化・スポーツ財団運営補助事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	生涯スポーツ推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	B 前年度：B	実施計画事業は概ね計画通り実施できていますが、KPIに設定した目標値は達成できていません。 スポーツ教室・大会等は、関係団体が開催するものもありますので、種目や競技人口の全町でのバランスをとりながら、スポーツへの取り組みを進めています。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本的見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	①	<p>総合体育館をはじめとするスポーツ施設は老朽化が進んでいるため、利用状況や財政負担を考慮しながら計画的な整備を進め、安全で利便性の高い利用環境を確保します。</p> <p>町民の心身の健康を保つとともに、世代間交流や地域コミュニティの活性化が図られるよう、健民祭や各種スポーツ大会などへの参加機会の確保に努めます。</p>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

### 施策15 男女共同参画・人権尊重の推進

1 施策の概要				
重点施策	該当なし			
今 後 の 取組方針	<div>◇ 「はこね男女共同参画推進プラン（第2次）」に基づく総合的な施策の推進と町民一人ひとりが男女共同参画に関する正しい知識を深め、男女がともに自分らしい選択ができるような意識や環境づくりを進めます。</div> <div>◇ 審議会等における女性の割合増加に取り組めます。</div> <div>◇ いかなる暴力も重大な人権侵害であることを発信するなど人権尊重の意識づくりに取り組みます。</div>			
施策の展開	施 策 の 展 開		施策担当課	施策責任者
	2-15-1 男女共同参画の推進		町 民 課  福 祉 課	総務部長
	2-15-2 女性の自立支援と活躍推進			
	2-15-3 男女がともに安心して暮らせる環境づくり			
	2-15-4 人権意識啓発			

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	男女共同参画講演会満足度（アンケート）（再掲）（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		-	-	-	100	100	100	80
目標指標	2	審議会等における女性委員の割合（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		20.5	22.1	22.9	20.5	23.9	22.8	30.0

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	男女共同参画推進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	人権意識啓発事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	B 前年度：B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画講演会については、アンコンシャスバイアスという“思い込みによる阻み”を題材に、新たな視点で実施した。興味をひく内容でアンケートの満足度も高かった。</li> <li>・女性活躍セミナーを引き続き開催した。</li> </ul> <p>⇒多様な視点、角度からの講演会、セミナー開催により、幅広い方から共感等得られて、啓発につながっている。</p>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本の見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会等における女性委員の割合を増やすことについては、選考時における配慮を引き続き促し、目標の達成を目指します。</li> <li>・講演会やセミナーについては集客に苦慮しているが、多くの方に参加いただくことにより男女共同参画や人権尊重の意識醸成につながっていくことから、開催方法や周知方法を引き続き工夫していきます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

### 施策16 多文化交流の実現

1 施策の概要				
重点施策	該当なし			
今 後 の 取組方針	◇ 多様な文化に触れることのできる機会を提供します。 ◇ 地域に住む人々の心に残る価値を創造し、皆がいきいきと暮らせる社会の実現を目指します。 ◇ 姉妹都市・友好都市等との交流を積極的に実施し、異文化体験をとおして双方の友好関係の向上を目指します。			
施策の展開	施 策 の 展 開		施策担当課	施策責任者
	2-16-1	国際的な文化交流・ホストタウン構想の推進	企 画 課 観 光 課 福 祉 課 学校教育課	企画観光部長
	2-16-2	国際交流の促進		
	2-16-3	姉妹都市・友好都市との交流		

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	ホストタウン相手国との交流回数（単位：回）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		1	0	2	1	0	1	1
	2	姉妹都市・友好都市との訪問団派遣・受入回数（単位：回）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		0	0	0	1	2	2	1

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	姉妹都市親善交流事業（教育費）	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	姉妹都市親善交流事業（観光費）	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	国際親善交流事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	洞爺湖町姉妹都市提携60周年記念事業（社会福祉費）	計画通り実施できた	廃止
5	洞爺湖町姉妹都市提携60周年記念事業（観光費）	計画通り実施できた	廃止

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度: B	・姉妹都市カナダ・ジャスパーの訪問団受入と併せ、姉妹都市提携50周年となる節目の記念式典を滞りなく実施できた。 ・友好都市スイス・サンモリッツとの友好都市提携10周年を記念して、締結後初となるの本町からの親善訪問により、国際交流協会会長ほか会員も交えた交流活動を実施できた。 ・60周年を迎えた洞爺湖町との姉妹都市提携について、記念式典及び記念事業(ジオパーク相互展示、60周年記念誌発行など)を実施し、両町の絆を深めた。また恒例の中学生同士の相互交流により友好親善を図るとともに、本町職員が洞爺湖町のイベントで箱根の観光をPRした。 ・これらの周年行事等により姉妹都市・友好都市等との交流を積極的に行い、異文化体験や相互交流をとおして双方の友好関係の向上を図った。 ・一方で令和5年度以降、星槎グループに留学生がおらず、ホストタウン相手国(エリトリア等)との交流ができていない。また、オリンピック選手との交流も実現困難な状況が続いている。 ・国際交流協会と連携し、町民の語学講座(英語・中国語)への積極参加や町内事業所へ勤務している外国人研修生との交流を実施できた。また町内事業所へ勤務している海外研修生を料理教室に招待し一緒に調理をすることで、積極的に海外研究生と交流できた。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	・ジャスパーとの学生交換については、ジャスパー側で生徒が集まらないため廃止となったことから今後代替案を検討する必要がある。 ・ホストタウンとの交流事業は、星槎グループ(星槎大学箱根キャンパス)と連携しながら、あらゆる手段・機会を捉え交流の場面を見出す。 ・これらの状況を踏まえ、国内外の姉妹都市等(ジャスパー、ブータン等)との定期的な交流を模索し、その方法を検討する必要がある。 ・町民の語学講座は、語学に興味がある方の発掘及びPR方法について検討する必要がある。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標3 誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり

### 施策17 道路・交通網の充実

1 施策の概要			
重点施策	分野1 防災力の強化〔施策の展開 3-17-3が該当〕		
今後の取組方針	◇ 国道・県道の整備促進に向け、引き続き関係機関との調整及び要望を継続し、神奈川県と協力しながら事業の円滑な進捗を目指します。 ◇ 将来の交通需要を踏まえた道路計画を検討し、道路、橋りょう及び駐車場の長寿命化を見据えた維持・管理を行うとともに、安全・快適な道路空間の形成に取り組めます。		
施策の展開	施策の展開	施策担当課	施策責任者
	3-17-1 国道・県道の整備、充実 3-17-2 林道の通行規制緩和の要望 3-17-3 適切な道路の維持管理 ◎ 3-17-4 道路後退用地の整備 3-17-5 橋りょうの長寿命化 3-17-6 駐車場の整備 3-17-7 安全・安心で快適な道路空間の形成	都市整備課 観光課	環境整備部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	町道16路線の整備工エリアの整備率（単位：m）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		3,106	3,380	3,764	4,448	5,177	5,786	6,400
		町道16路線の整備工エリアの整備率（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		48.5	52.8	58.8	69.5	80.1	90.4	100.0
	2	橋りょう保全改修率（単位：m）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		5	6	6	6	6	6	9
		橋りょう保全改修率（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		55.6	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	100.0



3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	町道湯71号線道路整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	町道湯119号線道路整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	町道温1号線道路整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	町道宮13号線道路整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	町道宮17号線道路整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
6	町道宮185号線道路整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
7	町道仙12号線道路整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
8	町道仙18号線道路整備事業	計画の半分程度実施できた	計画通り実施（予定）
9	町道仙212号線道路整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
10	町道箱114号線道路整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
11	町道湯2号線道路改良整備事業	計画通り実施できなかった	計画変更し実施（予定）
12	町道箱1号線道路改良整備事業	計画の半分程度実施できた	計画通り実施（予定）
13	道路施設保守点検事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
14	道路後退用地整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
15	橋りょう長寿命化改修事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
16	宮ノ下駐車場整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
17	仙石原農道整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している）  B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある）  C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある）  D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	A  前年度：A	・目標指標としている「町道16路線の整備工リア率」は、予定していた特定財源の減額等により事業の一部計画変更が生じたものの、順調に推移しています。 ・関連施策については、指標に掲げる町道整備・橋りょう保全を始め、道路後退による道路用地取得等鋭意とりくまれています。また、宮ノ下駐車場については、利用者の影響を抑えながら長寿命化改良工事を実施しています。 ・足柄幹線林道の通行規制緩和について要望し、冬期閉鎖期間の短縮が図られました。 ・国道・県道の整備、充実において、国道1号線渋滞対策について県への要望・協議を実施しました。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である）  ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である）  ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない）  ④：抜本的見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	①	・2つの目標指標（橋りょう保全改修）については、目標達成に向けて今後とも計画的に取り組めます。 ・国、県道の整備充実等については、積極的に県等との調整の機会を設けます。（特に交通渋滞対策や沿道の草木の伐採、交差点等の歩道整備等） ・町道や橋りょうの維持管理については、路線の重要度、老朽度、地域性等を踏まえ、補修・整備計画に沿って計画的に推進するとともに、整備に係る特定財源確保のため、関係機関と調整を図ります。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標3 誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり

### 施策18 住環境の整備

1 施策の概要			
重点施策	分野2 若者定住の促進〔施策の展開 3-18-1が該当〕 分野4 ブランド力の強化〔施策の展開 3-18-3が該当〕		
今後の取組方針	◇ 空き家等の情報を的確に収集し、所有者に対して空き家バンクへの登録を促し、利活用の促進を図ります。 ◇ 住環境の整備をすすめ、人口減少の抑制に向けて移住・定住を促進します。 ◇ 地籍調査事業を進めます。		
施策の展開	施策の展開		施策担当者
	3-18-1 空き家バンク制度の促進 ◎ 3-18-2 企業・事業者への相談・支援 3-18-3 お試し居住制度の充実 ◎ 3-18-4 空き家等の適切な管理の促進 3-18-5 町営住宅の適切な維持管理 3-18-6 安心して利用できる公園の整備 3-18-7 観光街路灯維持管理における補助 3-18-8 土地の有効活用の促進 3-18-9 河川・水路の環境整備	企画課 観光課 福祉課 都市整備課	企画観光部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	空き家バンク登録件数（累計）（単位：件）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		54	58	61	73	82	94	100
目標指標	2	お試し居住・体験者からの移住件数（単位：件）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		3	4	5	5	7	10	20

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	住みたいまち箱根推進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	町営住宅整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	公園整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	観光街路灯整備補助金交付事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	地籍調査事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度: B	・住みたい町箱根推進事業は、出産祝い金の支給や住宅取得補助、民間賃貸の家賃などを補助したほか、トライアルステイ（お試し居住）などを実施し、移住・定住の促進を図った。複合的な取り組みによって移住による人口増につながっており、町の最重要課題である人口減少対策に一定の効果が認められる。 ・空き家バンク事業を民間団体に委託することで、官民連携によるきめ細かい相談対応等が可能となり、定住者に優先的に空き家を供給するなど、有効活用が図られている。また空き家バンク登録件数（累計94件）も目標値（100件）達成間近である。 ・適切に管理されていない空き家等で防災、衛生、景観等の側面から周囲の生活環境へ影響を与えているものについては、関係部署間で連携しながら所有者を調査・把握し、適正管理を促す取り組みを実施した。 ・町営住宅整備及び公園整備は、維持補修等を行うことで居住者及び利用者の利便性等の向上を図った。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	・空き家活用希望者は増えているものの、空き家の供給が追い付いていないため、空き家の掘り起こしが必要である。また多くの空き家が民泊施設に活用されており、空き家の活用が定住につながっていない。 ・空き家の掘り起こしが急務である。引き続き、民間団体と連携して空き家の掘り起こし等を進めるほか、先進事例のある事業者とも連携し、新たな取り組みを進める必要がある。 ・お試し居住制度が定着してきており、箱根の移住の関心を高めることにつながっているほか、移住につながらない場合でも、関係人口の創出につながっており、移住施策の一つとして効果がある。しかしながら、令和7年度以降は町予算の計上せず、民間団体の独自運営としたが、継続性に課題があり、目標値達成は難しい状況にある。 ・公園の整備は、老朽化した施設の更新及び長寿命化対策が課題となっている。老朽化度に応じ優先度を踏まえながら、地域の声も取り入れた公園施設の更新等を実施する。 ・建物の老朽化が進む町営住宅は、町の財政状況等を考慮すると、大規模な改修を行うことは非常に困難である。そのため当面は、既存入居者の利用に対応した維持保全を図り、居住性の向上や住居ニーズに応じた改修を行うことしかできない。 ・観光街路灯の維持管理は電気料の高騰に伴う補助金額の増加や自治会の高齢化等に伴う負担の増が課題として顕在化している。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標3 誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり

### 施策19 生活環境の整備

1 施策の概要			
重点施策	分野5 持続可能なまちづくり〔施策の展開 3-19-1が該当〕		
今後の取組方針	◇ 美しいまちを将来の世代へ引き継ぐための取組みを引き続き進めます。 ◇ 動物の保護管理の徹底、有害野生鳥獣対策を引き続き進めます。		
施策の展開	施策の展開	施策担当課	施策責任者
	3-19-1 環境保全の推進 ◎ 3-19-2 浄化槽対策 3-19-3 環境美化の促進及び美観の保護 3-19-4 動物の保護管理の徹底 3-19-5 有害野生鳥獣の対策	環 境 課	環境整備部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析									
目標指標	1	花いっぱい運動参加団体数（単位：団体）							
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)
		23	23	26	28	28	29		25
	2	美化清掃参加団体数（単位：団体）							
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)
		30	29	32	28	32	32		35
	3	不法投棄パトロール回数（単位：回）							
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)
		25	23	31	33	31	35		30
	4	有害野生鳥獣（猪）捕獲数（3か年平均）（単位：頭）							
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)
		73	71	73	59	44	41		70

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	散乱ごみ・不法投棄対策事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	花いっぱい事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	合併処理浄化槽設置整備費補助事業	計画通り実施できなかった	計画通り実施（予定）
4	有害鳥獣対策事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	スズメバチ対策事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	A 前年度:A	・「花いっぱい運動参加団体数」及び「不法投棄パトロール数」は目標を達成しており、「美化清掃参加団体数」は目標の達成に向け着実に団体数は増加しており、環境美化の促進、美観保護の積極的な取り組みでより良い生活環境を作ることができました。 ・「有害野生鳥獣(猪)捕獲数」は豚熱(家畜伝染病)によると思われる猪の出没の減少により目標を下回っているが、シカの捕獲を強化するなど、有害野生鳥獣被害防止に向け、関係機関、団体等との協力体制の適正に対応しています。 ・スズメバチ駆除に係る補助金を交付しました。 ・町施設における再エネ由来電力の導入を開始し、地球温暖化の防止に寄与しました。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	①	・環境美化の促進、美観保護、有害野生鳥獣対策は、関連団体・機関と連携し、目標達成に向け取り組みます。なお、有害野生鳥獣対策においては目標指標である猪のみではなく生態系等に大きな影響を及ぼしてニホンジカの捕獲の強化も図ってまいります。 ・浄化槽対策は、公共下水道区域外の合併浄化槽の普及に努めるとともに、浄化槽の適正管理を促進してまいります。 ・再エネ由来電力を導入する町施設を拡大してまいります。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当が評価しています。



## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標3 誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり

### 施策20 上下水道の整備

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	<p>◇ 上水道については、恒常的な安定供給と事業の健全化を目指し、箱根町水道ビジョンや箱根町水道アセットマネジメント計画によって検証した内容を踏まえて、施設・設備の維持更新を計画的に進めます。</p> <p>◇ 下水道については、事業の推進を継続していくとともに、安定経営のため施設の適正な維持管理を行いながら、箱根町下水道ストックマネジメント計画に基づく計画的な更新を進めます。</p>		
施策の展開	施策の展開		施策担当課
	3-20-1 安全・安心・安定的な水道水の供給 3-20-2 未給水地区への対応 3-20-3 上水道事業の健全化 3-20-4 水資源の保全 3-20-5 下水道の整備 3-20-6 下水道使用料の適正化		上下水道温泉課
			施策責任者
			環境整備部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	水道事業における有収水量率（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		84.9	84.1	83.9	84.1	84.0	83.4	85.9
	2	第1号公共下水道整備率（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		89.8	90.4	90.5	90.5	90.5	90.6	98.6
	3	第2号公共下水道整備率（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		78.7	78.9	78.9	78.9	78.9	79.0	88.6

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	一般建設改良事業（水道事業会計）	計画の半分程度実施できた	計画変更し実施（予定）
2	送配水管整備事業（水道事業会計）	計画の半分程度実施できた	計画変更し実施（予定）
3	水道統合整備事業（水道事業会計）	計画通り実施できた	計画変更し実施（予定）
4	管路施設建設改良事業（公共下水道事業会計）	計画の半分程度実施できた	計画通り実施（予定）
5	処理場建設改良事業（公共下水道事業会計）	計画の半分程度実施できた	計画通り実施（予定）
6	ポンプ場建設改良事業（公共下水道事業会計）	計画の半分程度実施できた	計画通り実施（予定）
7	第3号公共下水道事業（公共下水道事業会計）	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
8	公共下水道事業会計補助金	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）



4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度:B	・水道有収水量率は、前年度と比較して僅かな減はあるものの、継続的な配水管の改良工事施工により、目標指標に向け取り組んでいます。 ・安全・安心・安定的な水道水の供給を行うため計画的に、老朽化した水道施設の更新を行いました。 ・第1号・第2号公共下水道の整備率は、微増であるが、増加しています。 ・第3号公共下水道については、箱根小田原幹線工事が一部工区の工期が延伸しているものの進捗は図られています。 ・浄水センターは、国交付金の削減により一部工事の先送りをしており、ストックマネジメント計画に沿った十分な対応は図られていないが優先箇所を選定し適正に維持・更新工事を実施しています。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	・水道事業においては、引き続き安全・安心・安定的な水道水の供給を行うため計画的に老朽化した水道施設の更新を行ってまいります。管路の更新サイクルについては今後検討していきたい。 ・下水道事業は、ストックマネジメント計画により、着実に老朽化した施設の改築更新に努めるとともに、この改築更新に必要な財源となる国交付金の確保のため、関係機関と調整を図ります。 ・第3号公共下水道については、湯本地区の目標年次の供用開始に向け事業推進に努めます。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当が評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標3 誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり

### 施策21 地域交通の利便性の確保

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 公共交通機関の利便性と駅など主な交通拠点の機能の充実を図り、町民の生活と観光客の移動手段の確保に努めます。		
施策の展開	施策の展開		施策担当課
			施策責任者
	3-21-1	利用しやすい公共交通サービスの提供	都市整備課
	3-21-2	駅など主な交通拠点の機能充実	
	3-21-3	自然環境への負荷軽減	
			環境整備部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	パークアンドサイクルの年間利用件数（単位：件）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		4,466	3,708	3,237	4,874	5,917	6,554	4,500

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	仙石原交差点周辺まちづくり事業（再掲）	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	A 前年度：A	・目標指標としている「パークアンドサイクルの年間利用件数」については、芦ノ湖畔訪れる観光客の移動手段として定着し、目標利用件数を達成しています。 ・利用しやすい公共交通サービスの提供においては交通事業者と連携を取りながら、利用者利便を確保することができました。 ・駅など主な交通拠点の機能充実ににおいては神奈川県鉄道輸送力増強促進協議伊豆箱根鉄道・小田急箱根部会等を通じて鉄道事業者と協議を行ってまいりました。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本的見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	①	・目標指標としている「パークアンドサイクル」の促進については、目標指標は達成しているものの、運営上の課題解決について検討します。 ・鉄道事業者、バスやタクシー事業者等と課題等について協議を実施し、利用しやすい公共交通サービスの提供、駅など主な交通拠点の機能充実に努めてまいります。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。



## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標4 環境にやさしく、安全・安心なまちづくり

### 施策22 循環型社会の形成

1 施策の概要			
重点施策	分野5 持続可能なまちづくり〔施策の展開 4-22-1が該当〕		
今後の取組方針	◇ 廃棄物の発生抑制や資源の循環的利用を推進するため、4R（発生回避、発生抑制・再使用・再生利用）を進めます。 ◇ 箱根町環境基本計画に基づき脱炭素社会の形成を進めるとともに、ごみ処理施設・し尿処理施設の効率的活用を図ります。		
施策の展開	施策の展開	施策担当課	施策責任者
	4-22-1 循環型社会の構築 ◎ 4-22-2 カーボンニュートラル（脱炭素社会）の推進 4-22-3 ごみ処理施設・し尿処理施設の効率的活用	環境課	環境整備部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	ごみの資源化率（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績) 8年度(目標)
		5.8	6.7	5.9	5.4	5.5	5.7	12.0
	2	ごみの焼却処理量（単位：トン）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績) 8年度(目標)
		13,956	10,828	11,118	12,199	12,434	12,632	13,100

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	スマートエネルギー導入促進事業	計画通り実施できなかった	計画変更し実施（予定）
2	ごみ減量化・再利用推進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	粗大ごみ選別業務委託事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	ごみ処理広域化推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	清掃第1プラント運転管理事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
6	清掃第1プラント施設維持管理事業	計画通り実施できなかった	計画変更し実施（予定）
7	最終処分場施設維持管理事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
8	清掃第2プラント運転管理事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
9	清掃第2プラント施設維持管理事業	計画通り実施できなかった	計画変更し実施（予定）
10	粗大ごみ処理施設改修事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
11	省エネ家電買換え促進事業	計画通り実施できた	廃止

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度: B	・ごみの資源化率については町のごみの大部分を占める事業系ごみの実績が反映できないため数値的には進捗はありませんが、収集運搬事業者の報告によると事業系ごみの資源化は増加傾向が見られ、ごみ焼却処理量が減少していることから総体的なごみの資源化については一定の進捗があるものと捉えています。 ・ペットボトルの水平リサイクル継続的な推進が図られています。 ・再生可能エネルギー由来の電力の導入を一部町施設において開始し、二酸化炭素排出量削減に寄与しました。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	①	・ごみの資源化率を向上するため剪定枝の資源化、食品廃棄物の削減及び資源化に取り組んでまいります。 ・再生可能エネルギー由来電力の利用を拡充してまいります。 ・ごみを継続的に安定した処理を行うため、引き続きごみ処理広域化に向けた協議を関係市町で行うとともに、令和7年10月開始した広域処理の前段となる足柄下郡3町における可燃ごみ共同処理を適正に実施してまいります。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標4 環境にやさしく、安全・安心なまちづくり

### 施策23 自然環境の保全

1 施策の概要				
重点施策	分野5 持続可能なまちづくり〔施策の展開 4-23-3が該当〕			
今 後 の 取組方針	◇ 箱根トラスト制度・県交付金などの活用により森林整備を含め自然環境の保全に努めます。 ◇ 箱根トラスト制度の周知を図るとともに、町民への環境保全の意識啓発を進めます。 ◇ 「箱根町地下水保全計画（第2期）」に基づき、温泉を含めた地下水保全対策を進めます。			
施策の展開	施 策 の 展 開		施策担当課	施策責任者
	4-23-1	箱根トラスト制度の充実	企 画 課  観 光 課  財 務 課  環 境 課	企画観光部長
	4-23-2	自然から学ぶことができる環境づくり		
	4-23-3	総合的な環境施策の推進 ◎		
	4-23-4	自然環境の保全		
	4-23-5	地下水の保全対策		
	4-23-6	森林の多面的機能の確保と森林整備の推進		
	4-23-7	仙石原湿原等におけるシカ対策の推進		

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	資源保全基金の年間寄付金額（単位：千円）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		4,799	2,683	2,062	4,150	4,666	4,188	6,000
	2	豊かな森林づくり（水源かん養）の実施面積（実施町有地の延面積）（単位：ha）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		145	176	212	249	279	338	499
	3	間伐材搬出促進事業に係る搬出実施面積（累計）（単位：ha）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		86	93	99	106	112	117	104

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	箱根トラスト推進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	仙石原湿原保全事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	豊かな森林づくり事業（総務費）	計画通り実施できた	計画変更し実施（予定）
4	豊かな森林づくり事業（農林水産業費）	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	間伐材搬出促進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
6	森林病虫害防除対策事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
7	地下水保全対策事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）



4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度: B	・資源保全基金に関して、募金箱による募金回収額は令和3年度以降増加しており、令和6年度は過去最高額(384,545円)であった。しかしながら、基金を取り崩す事業が多く、基金残高が年々減少し、新規寄付事業者等の獲得が進んでいない。 ・豊かな森林づくり事業は、平成19年度から5か年ごとの計画を建て実施している(第4期目)。町内5箇所の町有林の整備に加え2箇所の私有林整備の施業代行、また県森林組合連合会への長期施業受委託の実施など計画的に取り組んでいる。シカによる食害被害が確認されたことを受け、仙石原財産区では植栽保護柵を設置し、被害箇所には補植を行った。蛸川財産区では下刈・地拵・植栽に加え、樹幹保護ネットを設置し、食害防止対策を強化した。 ・地下水の保全対策は、町内12か所の地下水及び温泉観測井のモニタリング調査、気象庁及び県の雨量計から年間降水量を収集し分析、地下水の水質検査、箱根の森小学校に設置している実験用雨水浸透施設の効果検証用観測井の水位・水温等のモニタリング調査を継続して実施している。また、地下水の持続的な利用を確保することを目的とした箱根町地下水保全要綱(仮称)の制定に向け、地下水保全研究会WGを開催し検討を進めている。 ・モニタリング調査により特異な水位低下は認められず、実験用雨水浸透施設の効果検証においては継続して地下水の涵養効果が確認された。 ・神奈川県内唯一の貴重な湿原である「仙石原湿原植生保護柵の整備及び管理に関する協定」を環境省と町で締結し、毎月1回シカ柵の点検・補修を行っている。湿原を1周取り囲むようにシカ柵が設置されたことにより、湿原へ侵入するシカの数を減少させることができています。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	・資源保全基金は近年の寄付状況を考えると、目標値を達成することは難しい。まずは基金残高の減少率を抑え、残高が昨年度の90%を下回らないようにする。今後も引き続き、トラストの認知度向上や新規賛同者の増加を図るために、町の自然保護活動・基金の活用事例の周知方法や新たな寄付方法の検討を進める必要がある。 ・豊かな森林づくりは、令和9年度以降の県補助金の有無が課題であったが、補助金は継続される見通しである。整備協定が令和10年度に終了するため、協定満了までに財産区が費用をかけずに、良好な森林環境を維持できる状態で返還できるよう整備を進める必要がある。 ・間伐材搬出事業は、間伐材の買取価格が低下している一方で、搬出に係る経費が増加していることから町負担額が増加傾向にある。 ・総合的な環境政策は、事業者との協力体制を継続することが難しい(国の補助金があるうちは、一時的にプロジェクトとして機能するが、継続が困難)。そこで、事業系ごみ(食品残渣)の減量化・資源化については、箱根DMOや民間事業者との相互協力により対策を行う必要がある。 ・地下水の湧水等の事態を防ぐため、民間事業者などによる地下水利用がどの程度許容できるかを検討する必要がある。そのためには要綱等の制定により水収支把握に向けた効果的な情報取得体制を構築することが急務である。 ・箱根町地下水保全要綱(仮称)の制定、その後、地下水採取者から揚水量情報を取得し水収支の把握に努める。また、要綱の制定に伴い、特に井戸水を揚水している事業者に対して、要綱制定の周知及び地下水の保全の重要性について啓発を推進していく必要がある。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標4 環境にやさしく、安全・安心なまちづくり

### 施策24 景観の保全・形成

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	<p>◇ 町民、事業者、観光客及び町が各々の役割に応じて協働し、良好な景観を守り育みながら、積極的に景観まちづくりを進めていきます。</p> <p>◇ 景観形成の目的の具現化へ向け、箱根町景観計画の各施策の推進効果を検証しその効果と実現性を考慮した質の高い独自施策を、国・神奈川県、他の自治体と協働・連携しながら展開します。</p>		
施策の展開	施策の展開		施策担当課
	4-24-1 箱根町景観計画の見直しと適切な進行管理 4-24-2 町民との協働による景観づくりの発展 4-24-3 町の先導的役割の遂行 4-24-4 景観法等に基づく施策の展開 4-24-5 独自施策の展開 4-24-6 国・神奈川県、関連自治体との連携		都市整備課
			環境整備部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	景観まちづくり協力店の認定件数（累計）（単位：件）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		15	15	15	15	15	15	30

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	景観まちづくり推進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	B 前年度：B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標指標としている「景観まちづくり協力認定店の認定件数」は、ここ数年は、伸び悩んでいます。</li> <li>・景観まちづくり推進に向けて専門的見地から提言を行うまちづくりアドバイザーの委嘱をしたほか、町の色彩基準の解説書である景観色彩パンフレットの活用をしました</li> <li>・景観セミナーを開催し、住民等の景観に対する意識の醸成を図りました。</li> <li>・SNS等を積極的に活用し、町民等のさらなる景観意識の啓発や情報提供を行いました。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本の見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観まちづくり協力店の認定数の伸び悩みは、制度の利用条件にあると考えることから、今後、修景補助制度と合わせて見直しを検討します。</li> <li>・景観条例や景観計画の見直しを含めた現状確認を行い、条例改正の実施や計画改定に向けて調査研究を進めます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標4 環境にやさしく、安全・安心なまちづくり

### 施策25 防災対策の推進

1 施策の概要			
重点施策	分野1 防災力の強化〔施策の展開 4-25-3, 4-25-4, 4-25-5が該当〕		
今後の取組方針	<p>◇ 地震、風水害、火山災害、雪害などに対し行政主体の防災・減災対策を推進していくとともに、SNS、アプリ等の時代に即した情報発信の多様化や自主防災活動の促進、防災意識の啓発、民間施設との連携等を通じて自助・共助による防災活動を推進し、安全・安心なまちづくりを目指します。</p> <p>◇ 地震による建築物の倒壊等から市民等の生命、生活の安全安心を守るほか、災害時に通行可能な空間を確保するため、建築物の耐震化の促進に努めます。</p>		
施策の展開	施策の展開	施策担当課	施策責任者
	4-25-1 防災対策の総合的な推進 4-25-2 防災設備の充実 4-25-3 情報発信体制の充実 ◎ 4-25-4 自主防災活動の促進と防災意識の啓発 ◎ 4-25-5 火山災害対策 ◎ 4-25-6 武力攻撃事態等の対策 4-25-7 緊急輸送路沿道建築物耐震化の促進 4-25-8 要緊急安全確認大規模建築物耐震化の促進 4-25-9 木造住宅耐震化の促進	総務防災課  都市整備課	総務部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	神奈川県西部地震の被害想定に基づく、避難者及び帰宅困難者のための食料備蓄率（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	2	防災講演、出前出張講座等の依頼数に対する講演会等の実施回数（単位：回）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		2	0	20	22	2	6	5
	3	木造住宅耐震診断費に対する年間助成件数（単位：件）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		2	0	1	2	1	2	5

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	地震等災害対策事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	震後建物応急判定業務整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	被災者生活再建支援事業	—	計画通り実施（予定）
4	大涌谷火山対策事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	緊急輸送道路沿道建築物耐震化補助事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
6	木造住宅耐震化補助事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
7	ブロック塀等撤去改修補助事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
8	防災情報機器等整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度: B	・能登半島地震の発生を受け、備蓄品数を増やすなどの対応を図るとともに、箱根温泉旅館ホテル協同組合と災害時等における包括的連携協力に関する協定を締結するなど、避難者受入体制の強化を図った ・外国人住民や観光客の増を受け、防災行政無線の多言語化対応を行うなど、情報発信体制の強化を図った。 ・火山活動の活発化に備え、火山ガス監視・情報伝達システムの新アプリ開発に着手した。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	①	・引き続きハード、ソフトの施策展開から自主防災組織の機能強化、充実を図ります。 ・緊急輸送道路沿道建築物や木造住宅の耐震化、ブロック塀等撤去改修補助制度についてはPRを強化するなど、更なる事業促進に努めます。 ・火山活動の活発化に備えた体制の強化を図ります。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。



## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標4 環境にやさしく、安全・安心なまちづくり

### 施策26 消防・救急対策の充実

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 消防施設や装備、資機材等の充実に努めるとともに、消防職員一人ひとりの育成及び資質の向上を図ります。 ◇ 町民に対する防火意識の高揚や応急手当の普及啓発を引き続き推進します。 ◇ 消防団員の確保を促進するとともに処遇改善に努め、消防団組織の充実強化を図ります。		
施策の展開	施策の展開		施策担当課
	4-26-1 消防施設・装備の充実 4-26-2 消防団活動の充実 4-26-3 消防・救助体制の充実 4-26-4 火災の未然防止及び被害軽減の推進 4-26-5 救命率の向上及び救急体制の充実 4-26-6 通信指令体制の充実・強化		消防本部
			消防長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	応急手当の普及啓発受講者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		602	7	121	408	816	553	750
目標指標	2	消防団員数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		327	325	309	306	317	326	370

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	消防職員被服等整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	消防車両整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	消防・救助業務推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	消防水利等整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	消防施設等整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
6	消防情報機器等整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
7	消防団員被服等整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
8	地震等災害対応資機材整備事業（非常備消防費）	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
9	地震等災害対応資機材整備事業（常備消防費）	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
10	救急業務高度化推進事業（常備消防費）	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
11	救急業務高度化推進事業（常備施設費）	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
12	火災予防推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度: B	・消防職員・消防団員の被服や各種消防活動用資機材の整備、消防車両の更新、消防施設等の維持・補修等を推進し、災害発生時の安全管理体制や消防力の充実強化が図られ、災害対応力が向上しました。 ・町民をはじめ宿泊施設の従業員等に対して応急手当普及講習会を開催、消防団員から応急手当普及員を養成、指導救急救命士が中心となり救急救命士の教育を実施するとともに、研修の受講並びに救急業務の高度化に向け各種救急資器材の積極的な整備により、救急救命体制が向上しました。 ・スマートフォンでの119番通報時(LIVE119)、通報者から映像や写真の送信を受けることで、より正確な情報をリアルタイムに取得が可能となり、音声だけでは伝わりずらかった状況等を迅速・的確に情報共有することができました。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	・複雑多様化する各種災害に迅速・的確に対応するため、最新の知識・技術の習得及び消防施設、車両、資機材並びに消防水利の充実強化が必要なことから、事業内容について更に検討を行い、引き続き消防力の向上に努めていきます。また近年の気温上昇に伴い、災害現場で職員を熱中症から守るため個人装備である防火衣の仕様を更新することで職員のストレス低減を目指します。 ・引き続き消防団員の充足率向上のため、福利厚生の実施や被服・装備等を整備するとともに女性団員、機能別消防団員、更には、実情に応じて適切に外国人消防団員の確保に努めます。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。



## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標4 環境にやさしく、安全・安心なまちづくり

### 施策27 交通安全・防犯の充実

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 警察を中心とした関係団体と連携を図り、交通安全への意識の高揚や適切な施設の整備、点検に努めます。 ◇ 警察や防犯関係団体等と協力し、犯罪のない地域づくりに努めます。 ◇ 消費者への相談体制を充実するとともに、情報提供等により消費者の意識啓発に努めます。		
施策の展開	施策の展開		施策担当課
	4-27-1 交通安全意識の高揚 4-27-2 道路交通環境の整備 4-27-3 二輪車の事故防止対策 4-27-4 一体となった地域防犯体制の構築 4-27-5 防犯施設の充実 4-27-6 相談体制の充実と消費生活に関わる意識啓発の推進		町民課
			総務部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	町立小学校及び認定こども園・幼稚園・保育所での交通安全教室開催回数（単位：回）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		7	7	7	7	7	7	7
	2	町内高齢者（65歳以上）へのドライビングスクールの参加者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
目標指標		15	0	0	0	5	0	15
	3	消費生活に関する相談件数（単位：件）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		44	53	31	41	40	39	50
目標指標	4	交通安全施設の重点点検（単位：件）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
その他		0	1	2	2	2	2	2
	5	死亡事故発生件数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		0	3	3	1	0	1	

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	交通安全対策推進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	くらしの安全推進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	消費生活相談支援事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度: B	・ 児童、園児を対象とした交通安全教室の実施のほか、スクールゾーンや路面標示などの交通安全施設の点検を実施、警察署等へ改善を要望するなど、交通安全への意識の高揚や適切な施設の整備、点検を行った。 ・ 消費者相談窓口の周知や、防災行政無線を使った注意喚起等により、振り込み詐欺などの被害防止対策を図った。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	・ 町立小学校等での交通安全教室を引き続き開催し、園児や生徒の交通安全に対する知識の向上を図るほか、全国的に高齢運転者の事故が増加しているなかで、高齢者講習の実施しや、自動車急発進防止装置等に対する補助制度をPRするなど、安全安心なまちづくりを推進します。 ・ 新たな手口による振り込み詐欺や犯罪を防止する対策について、検討します。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標5 癒しと文化を提供する観光産業づくり

### 施策28 観光資源の開発と活用

1 施策の概要			
重点施策	分野4 ブランド力の強化〔施策の展開 5-28-1が該当〕		
今後の取組方針	<p>◇ 周辺の自然と調和しつつ、地域の歴史や文化を活用し、保養・休養の場としてより魅力のある観光地を目指します。</p> <p>◇ 温泉事業における恒常的な安定給湯を図るため老朽化した施設の更新と町営温泉供給区域について新規加入者を獲得するためのPR活動を行っていきます。</p> <p>◇ 災害等の際、観光地箱根の生命線、大切な資源である温泉が、官民の連携により安定的に供給できるよう、取組めます。</p>		
施策の展開	施策の展開	施策担当課	施策責任者
	5-28-1 観光地のブランド化促進 ◎ 5-28-2 町営温泉の安全・安心・安定的な供給体制 5-28-3 火山活動の影響を受けた大涌谷園地の持続可能な環境整備 5-28-4 域内滞在時間延長と周遊エリアの拡大 5-28-5 箱根温泉蒸気井管理協議会との連携強化	観光課 企画課 総務防災課 上下水道温泉課	企画観光部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	観光協会ホームページのアクセス数（単位：万回）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		296	219	265	297	343	354	300

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	箱根線整備事業（温泉特別会計）	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	湯之花線整備事業（温泉特別会計）	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度: B	・観光地のブランド化の一環で、はこね親善大使を起用したモデルコースパンフレット内に箱根17湯の日帰り温泉施設を盛り込んでPRを実施したことで、これ活用した的確な温泉案内・PRにより集客が図られた。 ・箱根線整備事業・湯之花線整備事業の配湯管更新により、安定した温泉の配湯が可能となった。また町営温泉新規加入者を獲得するためのPR活動として、新規加入募集の広告マグネットを温泉施設点検車に張り、PR活動を行った。 ・火山ガスの監視など大涌谷園地の安全対策を図りつつ、関連団体と調整しながら、ハード・ソフト両面での安全対策による人的被害ゼロの継続できるよう、安全かつ持続可能な環境整備を進めた。 ・箱根観光デジタルマップ内におすすめスポットとして「夜の飲み屋さん」等を紹介し、夜ニーズに対する打ち手を実施した。また国内外の観光診断書アンケートで上位課題として挙げられている「箱根のナイトタイムニーズ」を解消するために、吉本興業が有する「Yoshimito Comedy Night」の箱根開催に向け検討準備を行った。一方でモーニングタイムに関しては検討に至っていない。 ・箱根観光デジタルマップへのナイトタイムコンテンツや営業店舗の訴求により、観光客アンケートの「箱根の悪い点」の「夜の営業店舗が少ない」との回答割合が若干減少傾向にある。 ・箱根温泉蒸気井管理協議会にて、過去の非常時の相互応援について冊子にまとめるなど、情報共有を図り、民間事業者同士が連携を深める取り組みを進めた。町と民間事業者だけでなく、民間事業者同士の信頼関係が構築されており、情報交換や研修により、町の観光資源である「温泉」の安定供給につながっている。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	・既に目標値を達成しているが、引き続き町作成の観光パンフレットへURLの掲載をし観光展等での配布、電話等で観光案内をする際、積極的に観光協会ホームページの案内を行うことで、アクセス数のさらなる増加を図る。 ・箱根DMOと連携して、HOT21観光プランにおいて掲げる課題の一つであるナイトタイムエコノミーのほか、モーニングタイムエコノミーについても積極的な検討を始める必要がある。 ・観光地箱根に欠かせない温泉を安定的に供給・保全できるよう、温泉事業における恒常的な安定給湯を図るため、老朽化した施設の更新と町営温泉供給区域について新規加入者を獲得するためさらなるPR活動を行う。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標5 癒しと文化を提供する観光産業づくり

### 施策29 観光拠点整備と魅力向上

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 観光拠点の整備を引き続き図り、魅力や利便性の向上に努めます。		
施策の展開	施策の展開		施策担当課
			施策責任者
	5-29-1	町立観光施設の内容充実	観 光 課
	5-29-2	公衆トイレの改修	
	5-29-3	自然の癒しを感じながら散策できる観光地づくり	
	5-29-4	仙石原すすき草原の保全と魅力向上	
		企画観光部長	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	森のふれあい館の入館者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		14,208	11,428	14,014	15,178	13,559	14,834	18,000
	2	箱根ジオミュージアムの入館者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		56,780	68,735	81,724	123,648	153,763	169,116	153,000
	3	箱根湿生花園の入館者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		78,369	52,823	59,751	65,925	55,620	50,080	92,000

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	観光施設整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	箱根湿生花園特別展等開催事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	箱根湿生花園整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	ジオミュージアム誘客宣伝事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	森のふれあい館整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
6	森のふれあい館特別展等開催事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
7	やすらぎの森整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
8	森林セラピー推進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
9	公衆トイレ整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
10	ハイキングコース等整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
11	仙石原すすき草原保存事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）



4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度: B	・森のふれあい館は、館内トイレとやすらぎの森内のトイレの洋便器化や温水洗浄便座化を進めるなど来場者の快適性の向上に努めた。また近年増加しているインバウンド層の獲得を目指して館内パンフレットや案内板の英訳のほか、閑散期である冬に、新たな顧客獲得を目的として新イベント「苔テラリウム作り」を開催した結果、令和6年度入館者は前年度を上回り14,834人となったものの、目標値(18,000人)の達成は困難な状況にある。 ・箱根ジオミュージアムは、開館10周年を迎えることから展示解説書の作成、新規展示物の製作、記念ツアー等を実施した。その結果、入館者は令和4年度から3年連続で増加しているとともに、令和6年度は169,116人となり、直近2か年はコロナ禍以前の最盛期を上回り過去最高を記録した。 ・箱根湿生花園は、近隣の観光施設、宿泊施設や旅行会社等への営業活動や箱根湯本駅や強羅駅にデジタルサイネージへの広告掲載をするなど誘客宣伝に努めたものの、令和6年度の入園者数は50,082人となり、対前年度比で5,540人の減となり、目標値(92,000人)の達成は困難な状況にある。 ・公衆トイレは令和6年度までに、町内公衆トイレの利用頻度に鑑み清掃回数を見直しを行ったほか、設備面での充実を図ることを目的に、男子トイレへのサンタリーボックス、シートクリーナーの設置、さらにはベビーチェア、ベビーシートを設置するなど拡充を図った。 ・大民間ボランティアの協力を得ながら、大涌谷火山の小噴火以降閉鎖されていたハイキングコース(防が沢から駒ヶ岳、神山コース)について開放を行った。 ・すすき草原を訪れる観光客が見学を楽しめるよう、臨時駐車場や仮設トイレの設置を行うとともに、スムーズな誘導及び安全確保のために交通整理員を配置した。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	③	・森のふれあい館は、各種の取組によって、一定程度の効果は見受けられたものの、イベントや企画だけでは減少を留める対策にしかなく、一例では恵まれた自然環境にあって森林セラピーの本質に照らした取組みが不十分であり残念な状況にある。このような中においてサウンディング調査を経ながら民間のノウハウや活力を取り入れた施設運営を模索していることから、今後の展開に期待する。 ・箱根ジオミュージアムは、令和5年度に目標を達成しているが、現在の取り組みを継続していくことに加え、リピーターを増やすための効果的な打ち手を考える必要がある。なお、天候や交通状況等により入館客数が左右されてしまう課題があることに留意が必要である。 ・箱根湿生花園は、園内の展示解説については令和6年度に整備したデジタルマップガイドシステムを効果的に運用し、園内展示案内の充実を図っていく。また、令和8年には開園50周年を迎えるため、これを好機と捉え、単に点ではなく面で捉えるような記念イベント等を積極的に展開し、効果的な集客へ繋げるよう取り組む必要がある。 ・公衆トイレ環境の改善は観光地箱根への印象を向上させるものであることから、引き続き実施する。 ・近年の大雨や台風など自然災害の脅威が増しており、ハイキングコースの安全対策の重要性が一層増している中、他に類を見ないほど多彩なハイキングコースを有する町として、これまで以上に楽しんでいただくため、コース自体の整備のほか、ピクトグラムを活用した避難誘導表示の設置など引き続き適切な維持管理を図る必要がある。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標5 癒しと文化を提供する観光産業づくり

施策30 多様な観光資源を活用した誘客と受入態勢の整備

1 施策の概要			
重点施策	分野4 ブランド力の強化〔施策の展開 5-30-1が該当〕 分野5 持続可能なまちづくり〔施策の展開 5-30-2が該当〕		
今後の取組方針	◇ 魅力ある地域資源を活かすとともに、衛生面や感染症対策の充実など国際観光地「箱根」のさらなる振興を図っていきます。 ◇ 箱根町観光協会や箱根コンベンションビューロー、民間事業者等と連携しながら、引き続き事業を推進します。 ◇ 誰もが気軽に観光に訪れることができるようなサービス提供ができる人材育成を図るため、観光従事者等に様々な情報を提供するとともに町観光協会公認ガイドの育成など、観光教育の実施に努めます。		
施策の展開	施策の展開		施策担当課
	5-30-1 顧客・マーケットに対応した宣伝・広報の推進 ◎ 5-30-2 外国人観光客誘致事業の推進と外国人への情報提供の充実 ◎ 5-30-3 観光従事者等の雇用確保・拡大 5-30-4 児童・生徒を対象とした観光教育の推進 5-30-5 森林セラピストの育成・活用 5-30-6 ハローワーク等との連携 5-30-7 事業者支援の充実 5-30-8 観光関連産業の振興 5-30-9 常設型喫煙所の整備の推進		観光課 学校教育課 保険健康課
			企画観光部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	年間入込観光客数（単位：千人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		18,960	12,570	13,500	17,360	19,510	20,310	20,000
	2	観光産業融資利子補給事業の利用件数（単位：件）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		4	0	0	0	0	0	10
	3	外国人宿泊観光客数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		576,183	40,038	4,028	41,564	343,826	492,667	400,000
	4	箱根DMO公認観光ガイド育成（累計）（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		-	0	0	48	71	71	60
その他	1	中小企業等設備投資促進事業の利用件数（単位：件）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		-	-	-	3	15	0	

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	誘客宣伝事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	インバウンド観光推進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	はこね親善大使事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）



4	箱根駅伝歓迎事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	観光情報推進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
6	日本遺産箱根八里誘客宣伝事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
7	観光案内板整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
8	農地実態調査事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
9	水産業振興事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
10	信用保証料補助事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
11	中小企業者等アドバイザー派遣事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
12	人材確保等支援事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
13	退職金共済制度加入奨励事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
14	勤労者生活金融融資事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
15	中小企業等感染症対策事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
16	中小企業者等制度融資事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
17	新規創業促進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
18	オーバーツーリズム未然防止・抑制支援事業	計画通り実施できた	計画変更し実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	B 前年度：A	・コロナ禍が終息しインバウンドの戻りも好調であるため、年間入込観光客数は平成30年以来、6年振りに2000万人の万台を超え2,031万人となった。 ・はこね親善大使を活用したPRを行うことで、将来の顧客層となり得るZ世代に箱根の魅力を伝えることができた。 ・インフルエンサーFAMトリップ、海外でのセールスプロモーションの実施、the japantimesへの掲載、多言語のパンフレットの作成等を行ったことで、外国人宿泊客数は目標40万人を超え492,667人となった。 ・箱根DMO公認観光ガイド育成は認定に向けた講習や公認ガイドのスキルアップ等を図ることができ、ガイド数は累計で70名を超えた。 ・箱根DMOと連携し人材不足解消を目的とした人材プロジェクトにおいて、多様な勤務形態の推奨、地域の人事部の立ち上げなど積極的に活動をしている。また、町では人材確保等支援事業補助金の交付や、町での雇用を促進するためのプロモーションを実施した。 ・ハローワーク小田原や小田原箱根商工会議所が主催する就職面接会への参加や広報、人材確保支援プロモーションなど、積極的な広報、周知を実施した。 ・町内中小事業者等が抱える人材不足に対する省人化事業や人材確保事業への支援が好評であり、事業の継続や経営安定に対する一定の効果があつた。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本的見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	②	・案内看板や標識など、日本語表記のみのものも多く、引き続き外国語表記の案内看板・標識の設置が必要である。 ・人材不足は本町だけの課題でなく全国的な課題であり、継続的な施策の実施が必要不可欠である。引き続き、町だけでなく箱根DMOや事業者と連携しながら取り組みを行っていく。 ・森林セラピーガイド取得講座の受講料補助は町民からの関心が低く、希望者がいない。そういった中、町職員が森林セラピーガイド資格を取得することはできているので、森林セラピー基地認定を受けている森のふれあい館の利用促進の一環としても森林セラピーの効果的な取組みを模索し実行に移していく必要がある。 ・中小事業者等が行う設備投資のための融資は利用者も多く、ニーズに合ったものを実施できているので、観光地箱根を支える事業者を継続的に支援していく必要性は高い。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標5 癒しと文化を提供する観光産業づくり

### 施策31 箱根ジオパークの推進

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ ジオパークとして何を目指して活動していくかの検討を行い、箱根ジオパークのビジョンを策定し、関係者間で共有します。そのうえで、ビジョン実現のための具体的な取組みを行動計画に定めることにより、ジオパーク活動のさらなる充実を図ります。		
施策の展開	施策の展開		施策担当者
	5-31-1 ジオパーク活動の充実 5-31-2 箱根ジオパーク推進協議会の財源確保 5-31-3 箱根ジオパークのビジョン策定 5-31-4 オンラインコンテンツの拡充	企画課 観光課	企画観光部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	箱根ジオパークサポーター登録者数（累計）（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		36	40	48	58	64	78	100
目標指標	2	箱根ジオミュージアム入館者アンケートにおける箱根ジオパークの認知度（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		22.5	-	-	-	20.2	25.0	80.0
その他	1	箱根ジオミュージアム来館者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		56,780	68,735	81,724	123,648	153,763	169,116	

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	箱根ジオパーク推進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度: B	・ジオパーク推進事業については、地域資源を活用し、観光、教育や防災など様々な分野において普及活動を実施し、それぞれ効果は認められるものの、地域住民の自主的な活動に繋がっていない。 ・ガイドや地域住民、観光事業者などへの個別ヒアリングやオンライン意見交換会、箱根ジオパーク構成市町及び県でのパブリックコメントの実施により、この地域が抱える課題と目指すべき将来像を拾い上げ、長期的ビジョンとして策定した。 ・ジオツアー、フォトコンテストなどの普及活動、地震・火山に係る講演会、自然災害伝承碑の登録推進などの防災活動やサイト保全計画作成などの保全活動、さらには児童向け体験イベントや絵本作製といった教育活動など幅広い活動を展開した。その運営においても多くの場面でサポーターやガイドなどの協力を得て実施することで、地域に根付いた活動推進を図った。 ・箱根ジオパーク拠点施設である箱根ジオミュージアムは、入館者の多くが初来訪である。入館者が展示等を通して箱根ジオパークを認知することはあっても、全国的に「ジオパーク」自体の認知度が低く、ジオパークを目的とした入館者はごく少ないため、認知度(目標80%)を向上させることが難しく25%程度に留まった。 ・令和6年度で開館10周年を迎えたことから、館内の展示物を新規作成した他、展示解説書の作成、無料開館、バスツアー、火山実験イベントを実施した。開館10周年記念イベントの実施により、箱根火山の魅力を多くの方に広める機会となった。その結果、令和5年度で目標値153,000人を達成し、6年度は169,119人と2年連続で過去最高を更新した。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	・箱根ジオパークサポーター登録者数は増加しているものの、サポーターの定義がされていないことから、イベント運営協力の募集の際、手を挙げる方は固定メンバーとなっており、新規登録者のジオパーク活動への参画意識の醸成にまでは繋がっていない。したがって、サポーターの定義や活動内容をサポーターと検討する活動を実施する必要がある。 ・認知度向上のため引き続き、他機関と協力し、箱根火山及び箱根ジオパークへの理解促進となる展示・イベントを実施していくものの、全国的な「ジオパーク」の認知度向上が前提と思われる。このことを踏まえ地域住民の認知度を図るには、別な角度からの手法も考える必要がある。 ・ジオパーク推進事業は地域住民に対してインプットになる活動は推進しているものの、学んだことをアウトプットし、自主的な活動に繋がる仕掛けが必要である。イベントや講座の開催形式を参加型にするなど、工夫が求められる。 ・箱根ジオパークが掲げるビジョン達成のために必要な活動は何か、これを行動計画としてまとめるとともに、推進していく組織体制についても見直しを図る必要がある。 ・ジオミュージアムの入館者は目標を達成し2年連続して過去最高を更新している。このことから今後は来館者の箱根町への再来訪意欲の高まりを図る指標設定や、閑散期への誘客につなげる取り組みが必要である。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標5 癒しと文化を提供する観光産業づくり

施策32 伝統産業や観光行事の振興

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 伝統文化・産業を伝承している団体等に引き続き事業や活動に対する支援を行うとともに知名度向上のためのPRを行い、伝統文化等の保存・ブランド力の向上・伝承を強く推進していきます。		
施策の展開	施策の展開		施策担当課
			施策責任者
	5-32-1	伝統工芸のブランド力の向上及び後継者確保	観光課
	5-32-2	伝統工芸品産業団体への支援	
	5-32-3	伝統文化の継承	
	5-32-4	地域観光行事の振興及び活用	
		企画観光部長	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	畑宿寄木会館来館者数（単位：千人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		9,947	4,549	7,422	9,695	10,955	12,082	13,000
	2	寄木細工専用ホームページアクセス数（単位：回）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		-	0	0	93,166	124,305	131,829	100,000

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	箱根物産振興事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	伝統文化継承事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	大名行列衣装等整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	地域観光行事特別助成事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度: B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箱根寄木細工に関する専用のホームページ及び紹介動画を作成し、町の公式情報として世界にPRしている。専用ホームページのアクセス数は、令和5年度に目標値10万回を上回り、6年度もこれを更新し132,819回となっている。</li> <li>・令和5年度には箱根寄木細工に関する補助金（箱根寄木細工PR補助金）の創設のほか、専用ホームページのQRコードを追加で添付するなど、寄木に特化したパンフレットの内容を刷新して観光展などで配架をした結果、アクセス数が年々増加することに繋がり、箱根寄木細工についての魅力や認知が広がっている。</li> <li>・このような状況にあって、畑宿寄木会館来館者数は、販売・製作体験などを通じ箱根寄木細工の魅力を肌身で感じられるような取り組みの効果も相まって、目標の13,000人の目元まで達成している（12,082人）。</li> <li>・日本の伝統文化である古典芸能の邦舞（日本舞踊）や邦楽（三味線・唄・太鼓・鼓など）の保存・伝承、後継者の育成等のため、箱根湯本芸能組合に対して継続的な活動支援を実施した。</li> <li>・箱根大名行列やその他の地域主要観光行事の事業費の一部を助成することにより各地域の観光振興を図ることで当該行事を活用した誘客宣伝の一助とすることができた。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な文化、芸能及び産業の継承には町の支援は不可欠であり、今後も継続的にさまざまな支援策を実施する。</li> <li>・お土産品としてのイメージが強い印象を持たれている寄木細工について、箱根寄木細工PR補助金の利用促進を図り、寄木細工の新たな周知につなげることで伝統的工芸品としての価値向上を一層図る必要がある。</li> <li>・人材確保・育成に関して、関連団体等とともに官民が連携しながら対策を実施する必要がある。</li> <li>・地域主要観光行事の実施による箱根の知名度の高揚と誘客を図るため、各行事へ継続して支援を行う。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。



## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標6 行政の効率的運営と官民協働体制の強化

### 施策33 協働のまちづくりの推進

1 施策の概要			
重点施策	分野3 健康生活の推進〔施策の展開 6-33-4が該当〕		
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 情報公開制度をもとに、引き続き積極的に情報の共有化を図ります。</li> <li>◇ 計画の段階から町民の意見を取り入れ、町民と行政が官民連携し協働のまちづくりの推進に努めます。</li> <li>◇ 町と町民のパイプ役となる町自治会連絡協議会の活動の充実を図ります。</li> <li>◇ 自治会や各種団体の自主的な地域活動を支援し、地域コミュニティの育成に努めます。</li> <li>◇ 地域の資源や特性を活かしながら、官民連携によるまちづくりを推進します。</li> <li>◇ 第2次箱根町HOT21観光プラン実施計画に掲げている各種計画を着実に推進するため、箱根DMOとさらなる連携を図ります。</li> </ul>		
施策の展開	施策の展開	施策担当課	施策責任者
	6-33-1 まちづくりに関する広報・広聴機会の充実 6-33-2 町自治会連絡協議会の支援 6-33-3 集会所等の施設整備 6-33-4 地域コミュニティ活動の支援 ◎ 6-33-5 自主的・主体的活動の促進 6-33-6 HOT21観光プラン推進委員会による進行管理 6-33-7 箱根DMOとの連携・協働 6-33-8 官民連携によるまちづくりの推進 6-33-9 民間事業者・大学等との連携強化	企画課 観光課 町民課 都市整備課	総務部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	活力あるまちづくり新規補助件数（単位：団体）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		1	1	0	4	1	1	3
目標指標	2	町政モニター延べ回答者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)
		31	127	164	110	100	55	240

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	箱根DMO支援事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	集会所等整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	コミュニティ助成事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	活力あるまちづくり支援事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	町政モニター事業	概ね計画通り実施できた	廃止
6	仙石原交差点周辺まちづくり事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
7	包括連携推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
8	地域コミュニティ活性化事業	概ね計画通り実施できた	計画変更し実施（予定）

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度: B	・箱根DMO支援事業では、観光地箱根としての更なる成長を期待し、箱根DMOが実施する事業活動に対し補助を行い、町の観光経済の発展・拡大を図った。 ・行政と住民の話し合いの場を持ち、地域活性化に向けた具体的な取り組みを検討していくため、「地域のことを話し合う会」などの場において、意識啓発及び地域課題を掘り下げていくため意見交換い、好事例集の作成を行うなど活性化に向け事業の推進を図った。 ・自治会に対して助成を行い、地域・団体等のコミュニティ活動の活性化を図った。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	・「第2次箱根町HOT21観光プラン実施計画」に掲げる施策の実施については、引き続き箱根DMOと連携し官民協働で取り組みます。 ・地域コミュニティ活性化事業で実施したワークショップの結果をもとに課題解決を進め、地域コミュニティの育成を図ります。 ・広聴機能の拡充のため町政モニター制度を廃止し、LINEアンケートに切り替えていきます。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。



## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標6 行政の効率的運営と官民協働体制の強化

### 施策34 計画的な行財政運営

1 施策の概要			
重点施策	該当なし		
今後の取組方針	<p>◇ 将来にわたって安定した行政サービスを提供するために、財政調整基金及び歳入の確保を行いながら、自然災害等にも迅速に対応できる、健全な財政運営を目指します。</p> <p>◇ 将来世代に負担を先送りせず、地方債の発行と償還のバランス保持などにより、過大な負担を残さないよう持続可能な財政構造への転換を図ります。</p>		
施策の展開	施策の展開		施策担当課
	6-34-1	財源の確保	企画課 町民課 財務課 税務課 子育て支援課
	6-34-2	民間活力の活用	
	6-34-3	行財政改革の推進	
	6-34-4	財政リスクへの備え	
	6-34-5	事業の精査	
	6-34-6	税収の確保	
	6-34-7	公共施設等の総合管理と適正配置	
	6-34-8	広域行政の推進	
	6-34-9	交流圏拡大による活性化	
	6-34-10	デジタルトランスフォーメーションの推進	
	6-34-11	情報漏えい対策の強化	
	6-34-12	町村情報システム共同化の推進	
			総務部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	行財政改革アクションプランの進捗率（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		33	29	37	37	31	35	100
目標指標	2	町税徴収率（3か年平均）（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		94.87	93.89	93.77	93.80	94.98	95.23	95.20

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	地方公会計整備事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
2	デジタル化推進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
3	電子計算処理推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
4	償却資産実態調査事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
5	庁舎施設等整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
6	出張所整備事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
7	湯本地区公共施設利活用事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
8	ふるさと納税促進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
9	企業版ふるさと納税促進事業	概ね計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
10	弥坂湯利活用事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
11	戸籍情報システム等標準化移行事業	概ね計画通り実施できた	計画変更し実施（予定）

12	ICT推進事業	計画通り実施できた	計画通り実施（予定）
----	---------	-----------	------------

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 （目標達成又は進捗している） B：一定の進捗がある （目標達成に向け一定の進捗がある） C：進捗は遅れている （目標達成が遅れる可能性がある） D：進捗は大幅に遅れている （目標達成が難しい可能性がある）	B 前年度：B	・行財政改革アクションプランについては、財政健全効果額の実績は6億34百万円となり、見込額の4億36百万円を大幅に超え、目標以上の成果を得ることができた。 ・保育のICT化による保護者の利便性の向上と保育士業務の省力化を図ったほか、「戸籍情報システム」及び「戸籍附票システム」の標準準拠システムへの移行を実施した。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する （効果的な事業構成である） ②：一部見直し等の余地がある （概ね効果的な事業構成である） ③：見直し等の余地は大きい （あまり効果的な事業構成ではない） ④：抜本的見直し等が必要 （事業構成に問題がある）	①	・行財政改革アクションプランについては、令和5年度からの第2期計画を着実に推進していきます。 ・「観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討会議」から令和7年5月に、本町の観光まちづくり財源確保策については、宿泊税に絞って検討していくことが現実的であるという中間報告書が提出されたことから、令和10年4月の導入を目指し、取組を進めます。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標6 行政の効率的運営と官民協働体制の強化

### 施策35 SDGsの推進

1 施策の概要			
重点施策	分野5 持続可能なまちづくり〔施策の展開 6-35-1, 6-35-2, 6-35-3が該当〕		
今後の取組方針	◇ 町民への周知を実施していきます。 ◇ SDGsの推進に向けて地域が直面する課題の洗い出しや課題解決に向け取組みます。 ◇ 箱根町SDGs推進計画（仮称）を策定して国内外へアピールし、多様なステークホルダーとの連携のもと、一層の観光客誘致につなげます。		
施策の展開	施策の展開	施策担当課	施策責任者
	6-35-1 箱根町SDGs推進計画（仮称）の策定 ◎ 6-35-2 重点的取組みの推進（環境先進観光地箱根） ◎ 6-35-3 重点的取組みの推進（国際観光地箱根） ◎	企画課 観光課 環境課	企画観光部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	町民のSDGs認知度の向上（単位：％）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		40	-	-	-	-	-	80
目標指標	2	箱根町SDGs推進計画（仮称）の策定						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		-	-	-	-	策定済	策定済	策定済

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	該当事業なし		

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B 前年度: B	・ 町民のSDGs認知度の向上については、町の基本方針や行政・町民・事業者・観光客の具体的な取組みを明確にした「箱根町SDGs推進計画」を令和5年度に策定し、広報等やホームページを用いてSDGsの特集や町や事業者の取組みの紹介、また小学生に対してSDGsの授業を行い、広く意識醸成を図った。 ・ 独自の計画を策定したことにより、町民、事業者の理解促進に効果があった。 ・ 環境先進観光地を標榜する本町では、これまでも自然保護や省エネルギーなどの取組みを進めてきており、より一層恵まれた自然環境を保全・活用する取組みを進める。急速充電器の適正管理と設置場所の追加について民間事業者の活用を検討した。再生可能エネルギーの活用を脱炭素アドバイザーの助言の下、検討した。一部の公共施設においてエネオクというせり下げ方式のオークションを利用して再生可能エネルギー由来の電力に切り替えた。 ・ 脱炭素施策の考え方を整理することができ、また、再生可能エネルギー由来の電力に切り替えができたことから、二酸化炭素の排出量の削減につながった。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	・ 計画に基づき、認知度を含めた17のゴールの2030年(R12)目標値を達成できるよう、行政・町民・事業者・観光客等の各個人の意識を醸成していかなければならない。 ・ 継続して「箱根町SDGs推進計画」の周知に努め、行政・町民・事業者が一体となった取組みを進めるとともに、パートナーシップ制度など事業者と連携した取組みを進めていく。 ・ 再生可能エネルギー由来の電力を導入する公共施設を拡大し、効果検証を行った上で、町内事業者への普及を促進する。 ・ 急速充電器の追加設置のほか、連携協定を締結している民間事業者と連携してカーシェアリングの拡充について検討する。 ・ 国際観光地箱根を標榜する本町では、国内外から多くの観光客が訪れることから、世界中の方々をSDGsを通じ歓迎できる取組みを進め、訪れて良かった観光地、また訪れたいと思ってもらえる観光地を目指す必要がある。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和6年度）

基本目標6 行政の効率的運営と官民協働体制の強化

### 施策36 コロナ対策の推進

1 施策の概要			
重点施策	分野5 持続可能なまちづくり〔施策の展開 6-36-2, 6-36-10が該当〕		
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 状況に応じた経済対策を実施し、持続可能な地域経済を目指します。</li> <li>◇ 国・県・関係団体が示す感染症対策について引き続き町民、事業者、観光客に啓発していきます。</li> <li>◇ ワクチン接種については、引き続き接種対象となる町民が接種できるよう体制確保を図ります。</li> <li>◇ 各種イベント、教室、会議、打ち合わせ等の開催方法や施設の運営方法を検討し、ウィズコロナ時代においても執行できる事業のあり方を検討します。</li> <li>◇ 感染防止衣、感染防止用資器材及び消毒用資器材の整備と救急隊員等への二次感染防止に継続的に取組みます。</li> <li>◇ 消防職団員が安全・安心に業務を遂行できるよう消防施設の感染防止対策に向けた環境整備に取組みます。</li> <li>◇ 避難所における新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、避難者のソーシャルディスタンスの確保や健康管理を推進します。</li> </ul>		
施策の展開	施策の展開		施策担当者
	6-36-01 「新しい生活様式」の定着 6-36-02 ワクチン接種の推進 ◎ 6-36-03 正しい情報の迅速な提供 6-36-04 オンライン配信の積極的な利用 6-36-05 会議等における感染拡大防止のための書面開催 6-36-06 所管施設における感染防止対策の徹底 6-36-07 各種イベントにおける感染防止対策の実施 6-36-08 学校・園における感染防止対策の実施 6-36-09 事業者支援 6-36-10 町内経済活性化促進 ◎ 6-36-11 感染症防止用資器材等の整備 6-36-12 救急隊員等の健康管理 6-36-13 消防施設の感染防止対策 6-36-14 避難所における感染症対策の推進 6-36-15 自宅療養者への支援の推進	企画課 観光課 総務防災課 保険健康課 子育て支援課 学校教育課 消防本部	福祉部長

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析								
目標指標	1	新型コロナウイルス感染者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		-	24	315	1,493	-	-	0
	2	クラスター発生数（単位：件）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		-	-	-	-	-	-	0
	3	避難所における新型コロナウイルス感染症新規感染者数（単位：人）						
		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(実績)	8年度(目標)
		-	-	-	-	-	-	0

3 施策を構成する実施計画事業の評価			
No.	事務事業名	事業の進捗度	今後の方向性
1	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	計画通り実施できた	廃止

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A : 順調に推移 (目標達成又は進捗している) B : 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C : 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D : 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	A 前年度:A	「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染防止対策の徹底等、感染拡大を予防する「新しい生活様式」の定着に向けて周知を図った。 所管施設については、入場時の検温、定期的な除菌作業と換気を行う等の感染防止対策を徹底して、引き続き感染リスク低減に取組み、安心安全な施設運営を行った。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
① : 現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ② : 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③ : 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④ : 抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	①	今後も引き続き、基本的な感染防止対策など、周知を徹底していく。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。





箱根町第6次総合計画(後期基本計画)

令和6年度施策別評価結果

発 行 : 企画観光部 企画課

発 行 日 : 令和7年 11 月

住 所 : 〒250-0398 神奈川県足柄下郡箱根町湯本 256

電 話 : 0460-85-7111(代表)

